取扱説明書 保証書付

① 準備編

日立デジタルチューナ
（地上・BS・110 度 CS デジタル対応）
（iVDR-S 録画・再生機能付き）

形名
IV-R1000

この取扱説明書に記載の「使用上のご注意」をお読みください。本体の取扱いは、この取扱説明書と別冊の「② 操作編」の取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。
お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

付属品について

付属品をご確認ください。万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。

■取扱説明書および保証書（本書）は、よくお読みになって内容をご理解の上、いつでも確認できるところへ大切に保管してください。

⚠警告

● AC アダプターは、付属品以外を使用しないでください。

●付属品の AC アダプターは、本機以外の電気機器には使用しないでください。火災・感電の原因になります。

本書の見かた

この説明書は、主に下記の内容で構成されています。

もくじ

使用上のご注意

取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）を理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示について

	警 告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷＊[1]を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注 意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害＊[2]を負う可能性が想定される内容および物的損害＊[3]のみの発生が想定される内容を示しています。

＊１：重傷とは失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒など後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要すものをさしています。
＊２：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをさしています。
＊３：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさしています。

図記号の例

 気をつけなければならない。「注意」を示します。

 感電に気をつけなければならない。「感電注意」を示します。

 してはいけない。「禁止」を示します。

 必ず行う。「強制」を示します。

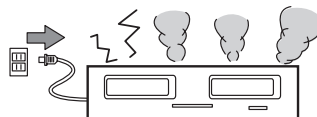
安全上のご注意

イラストはイメージであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

異常や故障のとき

⚠警告

■煙が出ている、へんなにおいや音がするときは、
すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜く

異常のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出なくなることを確認して販売店に修理をご依頼ください。

電源プラグをコンセントから抜け

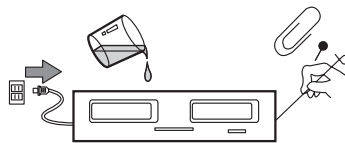
⚠注意

■本機が動作しないなどの故障の場合には、
すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜く

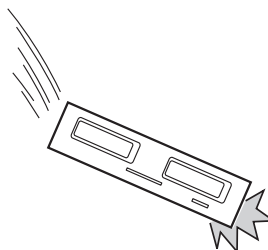
それから販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜け

■内部に水や異物などが入った場合は、
すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜く

それから販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。

電源プラグをコンセントから抜け

■本機を落としたり、破損した場合は、
すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜く

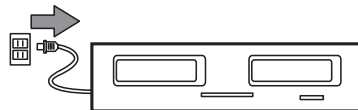
それから販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜け

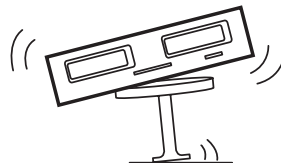
使用上のご注意

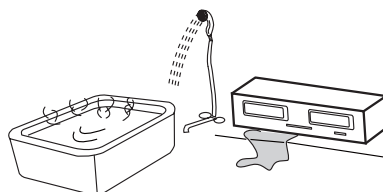
設置するとき

⚠警告

■電源プラグをすぐに抜くことができるように本機を据え付ける

本機が異常や故障となったとき、
電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと、
火災・感電の原因となることがあります。

■ぐらついた台の上や傾いた所など
不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりして、
けがの原因となることがあります。

■風呂、シャワー室では使用しない

火災・感電の原因となります。

風呂場や
シャワー室で
の使用禁止

■電源コードの上に重いものをのせたり、
コードを本機の下敷きにしない

コードに傷が付いて、火災・感電の原因となります。
コードを敷物などで覆ってしまうと、
気付かずに重い物をのせてしまうことがあります。

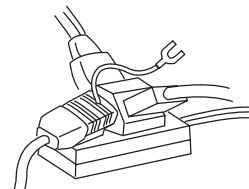
■ AC アダプターは、付属品以外を使用しない

火災・感電の原因となります。

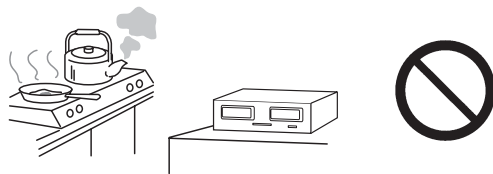
■ AC アダプターは、本機以外の電気機器には使用しない

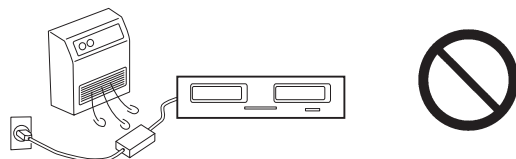
火災・感電の原因となります。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や
交流 100V（50/60Hz）以外では使用しない

●たこ足配線など、定格を超えると発熱により、
火災・感電の原因となります。
●表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。

⚠注意

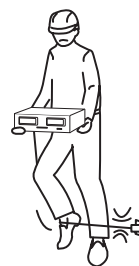
■湿気やほこりの多い場所、調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

■電源コードや AC アダプターを熱器具に近づけない

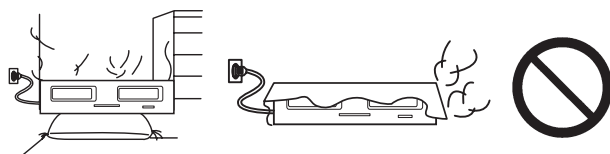
コードの被ふくが溶けて、
火災・感電の原因となることがあります。

■直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かない

本機が変形したり、部品に悪い影響を与え、
故障の原因となることがあります

■移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜く

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
●アンテナ線、機器間の接続コードなど
　外部の接続コードを外してから行ってください。

電源プラグをコンセントから抜け

■本機の通風孔をふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。
特に次のような使い方はしない。故障の原因となります。
●本機をあお向けや横倒しし、逆さまにする。
●押入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
●じゅうたんや布団の上に置く。
●テーブルクロスなどを掛ける。

■ AC アダプターにものをかぶせない

内部に熱がこもり、火災・感電の原因になります。

■アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください

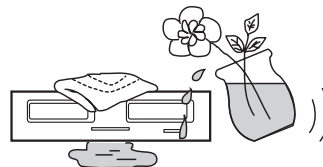
●送配電線から離れた場所に設置する。
　アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
● BS、CS 放送受信用アンテナは、強風の影響を受けやすいので、堅固に取り付ける。

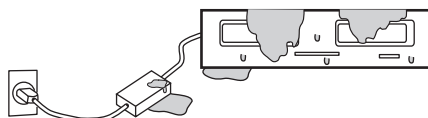
使用上のご注意

使用するとき

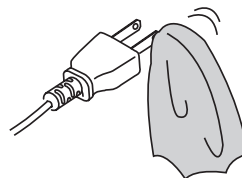
⚠警告

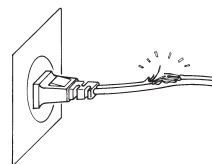
■本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、
薬品や水などの入った容器を置かない

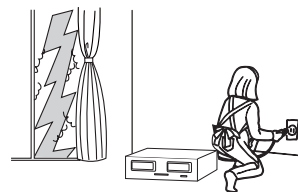
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■本機や AC アダプターに水をこぼしたり、
ぬらしたりしない

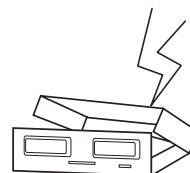
火災・感電の原因となります。
●雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

水ぬれ禁止

■電源プラグの刃および刃の付近にほこりや
金属物が付着している場合は、
電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除く

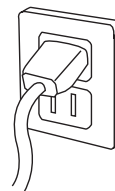
そのまま使用すると火災・感電の原因とります。
定期的（年に 1 回くらい）に清掃してください。

■電源コードを傷つけたり、加工したり、
無理に曲げたり、ねじったり、
引っ張ったり、加熱したりしない

コードが破損して、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）AC アダプターを交換してください。

■雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグには触れない

感電の原因とります。

■本機のトップカバーは開けない。
本機や AC アダプターを改造しない

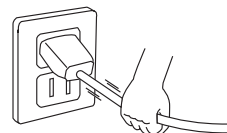
感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

⚠注意

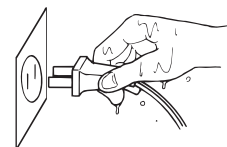
■電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱したり、
ほこりが付着して火災の原因となることがあります。
また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

■電源プラグは、ゆるみがあるコンセントに接続しない

発熱して火災の原因となることがあります。
販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

■電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

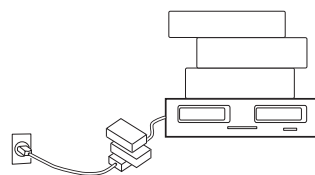
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

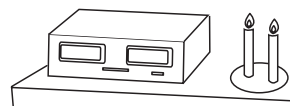
感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

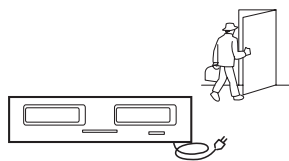
■本機の上に乗らない

特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

■本機や AC アダプターの上に重い物を置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、
けがの原因となることがあります。

■機器の近くにローソクなどの裸火を置かない

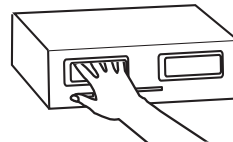
火災・感電の原因となることがあります。

■旅行などで長時間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く

火災の原因となることがあります。

使用上のご注意

使用するとき（つづき）

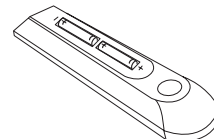
⚠注意

■ iVDR 挿入口へ手を入れない

けがの原因となることがあります。
特に小さなお子様のいるご家庭では、ご注意ください。

■本機の温度について

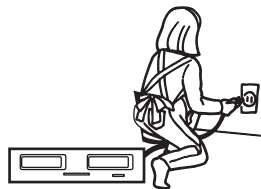
長時間使用したり、ラックに入れて使用したときなど、本機の底部が熱くなります。
十分に冷してから移動させてください。
また、熱に弱いもの（ビデオテープなどのプラスチック製品）を上に載せたり、
下に置いたりしないでください。

■間違った電池の使い方をしない

●乾電池は充電しない。
●指定以外の電池は使用しない。
●新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
●極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、表示どおりに入れる。
電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

お手入れするとき

⚠注意

**■お手入れの際は、安全のため電源プラグを
コンセントから抜いて行う**

感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセント
から抜け

**■年に一度くらいは、内部の掃除を
販売店などにご相談ください**

本機の内部や通風孔にほこりがたまったまま、
長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

使用上のご注意

お守りください

■高温になるところに置かないでください
直射日光が当たる場所や熱器具の近くなどに設置されると、変形・変色など悪い影響を与えますのでご注意ください。

■ iVDR 挿入口に異物を挿入しないでください
iVDR 以外のものを挿入しないでください。また、コインなどの金属物や異物を挿入しないでください。故障や破損の原因となります。

■ SD メモリーカード挿入口に異物を挿入しないでください
SD メモリーカード（またはマルチメディアカード）以外のものを挿入しないでください。また、コインなどの金属物や異物を挿入しないでください。故障や破損の原因となります。

■ B-CAS カード挿入口に異物を挿入しないでください
B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。また、コインなどの金属物や異物を挿入しないでください。故障や破損の原因となります。

■お手入れの際、ベンジン、シンナーなどは使用しないでください
●トップカバーの表面をベンジン、シンナーなどでふいたり、殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはがれるなどの原因となります。
●操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには、水で薄めた中性洗剤に布をひたしよく絞ってからふき取り、乾いた布で仕上げてください。
特に、次の洗剤などは亀裂や変色、傷付きの原因となりますので使用しないでください。
・酸・アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹸、OA クリーナー、カーワックス、ガラスクリーナー類、化学ぞうきんなど

■輸送する場合は、必ず本機用の梱包箱・クッションをご使用ください
●引越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱とクッション材をご使用ください。
●立てて輸送はしないでください。

■乾電池を廃棄する場合は、プラス・マイナス端子に絶縁テープを貼るなど、絶縁状態にしてから「所在自治体の指示」に従って廃棄してください

他の金属片等導電性のあるものと一緒に廃棄したりするとショートして、発火、破裂の原因となることがあります。

■本機および本機の破片、付属品を廃棄するときは、必ず、販売店にご相談ください

お知らせ

■本機の温度について
本機は、長時間使用したときなどに、上部や底部が熱くなる場合があります。手で触れると熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。また、熱で変形しやすいもの（ビデオテープなどのプラスチック製品）を上に置かないでください。

■冷却ファンについて
本機には冷却用ファンが内蔵されています。動作中はファン動作音が聞こえますが、故障によるものではありません。

■電話回線の接続が必要です
デジタル放送では、電話回線を使って視聴記録データの送信や視聴者参加番組への参加などができるシステムを採用しています。本機にはNTTの2線式公衆電話回線で、プッシュ式またはダイヤル式（10 PPS/20 PPS）の電話機に接続の電話線を分配して接続してください。また、接続した電話回線は異常が発生しない限り、取り外さないでください。不特定多数の人が利用する公衆電話や共同電話、および2線式電話回線と接続しない電話機（携帯電話、PHSなど）では利用できない場合があります。

■インターネット網への接続が必要です
地上・BSデジタル放送では、インターネット網への接続により、さらに多様な双方向データサービスを利用することができます。本機で、このサービスを利用するには、常時接続の回線業者やインターネットサービスプロバイダーとの契約が必要です。インターネット網への接続をしていないと、双方向データサービスを利用できない場合があります。

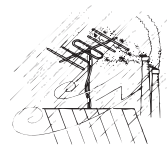
■視聴記録の送信について
B-CAS（ビーキャス）カードに記録される視聴記録データは、定期的に電話回線を通じ（株）B-CAS（ビーキャス）〔(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ〕へ自動送信されます。データ送信の電話料金は無料ですが、データ送信中は、同じ回線に接続の電話機は使用できません。

■本機の電源プラグは常時コンセントに接続しておいてください
長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は、本機の電源プラグをコンセントから抜いたままにしないでください。本機は電源オフ（スタンバイ）状態でも、自動的にデジタル放送の情報を受信したり、視聴記録の送信を行ったりする場合があります。

■ダウンロードについて
放送運用などに変更が生じた場合、本機のソフトウェアを更新して対応させるために、放送によるダウンロードサービスを行ないます。このサービスを受けるには、ご使用にならないときは、リモコンで電源を切った状態にしておくことをお勧めします。本体の電源プラグを抜いた場合はこのサービスを受けられません。

■天候不良によって、画質、音質が悪くなる場合があります
雨の影響により衛星からの電波が弱くなっている場合は、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えます。（降雨対応放送が行われている場合）降雨対応放送に切り換わったときは、画面にメッセージが表示されます。
降雨対応放送では、画質や音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合があります。

■ 110度CSデジタル放送をご覧になるには
110度CSデジタル放送に対応したアンテナが必要です。また、ブースターや分配器などをご使用の場合は、2150MHzまたはそれ以上の周波数対応の伝送機器が必要です。詳しくは販売店にご相談ください。

■アンテナの点検・交換について
アンテナは風雨にさらされるため、美しい画像でお楽しみ頂くためにも点検・交換することをおすすめします。
特に、煤煙の多い所、潮風にさらされる所では、アンテナが早く傷みますので、映りが悪くなった場合は、販売店にご相談ください。

■操作できなくなった場合は
受信異常などにより、本機の操作ができなくなった場合は、電源プラグをコンセントから抜き、2～3秒待ってから、再度電源プラグをコンセントに差し込んでください。

■本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください
本機の受信周波数帯域（470MHz～2072MHz）に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。また、アンテナの接続時にアンテナケーブルや分配器、分波器などの機器を使用する場合は、共聴用のものをご使用ください。

■本機に記憶される個人情報などについて
- 本機には、放送局とデータの送受信を行うために入力したお客様の個人情報が記録されます。本機を廃棄、譲渡等する場合には「設定の初期化」88 を実施して、本機内のメモリーに記録されているデータを消去することを強くお勧めします。
- お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気などのノイズの影響を受けたとき、または故障、修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータなどが変化、消失する恐れがあります。これらの場合の損害や不利益について、当社は何ら責任を負うものではありません。

使用上のご注意

お知らせ（つづき）

■メモリーカードについて
本機に挿入されたメモリーカードに保存、記憶されているデータは、本機の操作を誤った場合や静電気などのノイズの影響を受けた場合、消失する恐れがあります。このような場合や万一何らかの不具合により、データが消失した場合の補償や損失、直接・間接の損害について、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。大切なデータは、他のメディアにバックアップを取っておくことをおすすめします。

■ライセンス等について
● 本製品には、ACCESS 社製データ放送用 BML ブラウザ NetFront v3.0 DTV Profile を搭載しています。
NetFront は株式会社 ACCESS の日本国における登録商標です。
Copyright(C) 1996-2007 ACCESS CO.,LTD.
ACCESS NetFront v3.0 DTV Profile
● 日本語変換には、オムロンソフトウェア (株) のモバイル Wnn を使用しています。
● 本製品は、MontaVista Software,Inc. が開発したテクノロジーを搭載しています。
COPYRIGHT c 1999-2007 MONTAVISTA SOFTWARE,INC.ALL RIGHTS RESERVED. montavista
● 「iVDR」と iVDR S は、「iVDR 技術規格」に準拠することを表す商標です。

留意点

■付属の B-CAS（ビーキャス）カードは、デジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合は、ただちに B-CAS（ビーキャス）「(株) ビーエス・コンディショナル アクセス システムズ」カスタマーセンターへご連絡ください。お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。

■万一、本機の不具合により録画ができなかった場合の補償についてはご容赦ください。

■あなたが iVDR に録画したもの、およびビデオテープなどに録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

■本機から電話回線などを通じて通信を行なうと、通話料金無料のフリーダイヤルでないかぎり、電話料金はお客様の負担になります。

■本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

■国外でこの製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。

■この説明書に記載の画面イラストは、お使いのテレビに実際に表示される画面と異なる場合があります。チャンネル番号、チャンネル名、番組名などを含め、実際に表示される内容については画面でご確認ください。

■本機の仕様および機能などは、ダウンロードなどにより変更することがあります。

■ダウンロードとは、デジタル放送を受信してダウンロードデータを取り込み、本機のプログラムを最新のものに書き換える機能です。お買上げ時はダウンロードを「自動」で行なう設定になっています。「しない」設定にもできますが、最新のプログラムでご使用いただくため、通常は「自動」の設定でご使用ください。

iVDR について

重要 必ずお読みください

iVDR（ハードディスクドライブ）の取扱いについてのお願い

別売の iVDR は非常に精密な機器です。
使用する環境や取扱いにより iVDR の動作および寿命に影響を与える場合がありますので、次の内容を必ずお守りください。
別売の iVDR 取扱説明書に記載されている注意表示も必ずお守りください。

■設置時

- ●後面や側面の通風孔をふさがないでください。
- ●振動や衝撃が起こらない場所に設置してください。
- ●ごみやほこりの少ない場所に設置してください。
- ●「結露」(つゆつき) が発生しにくい場所に設置してください。「結露」は故障の原因になります。
  「結露」とは、冷たいコップの表面に水滴がついたりする現象です。急な温度変化が起きた場合や、寒い所から暖かい場所へ移動して設置する場合は「結露」が起こりやすくなります。そのような場合は、室温に約 2 ～ 3 時間なじませてから電源を入れてください。
- ●温度や湿度が高くない場所、直射日光があたらない場所に設置してください。温度や湿度の高い場所に設置すると録画、再生不良が発生したり、故障の原因になります。
- ●安定した動作を維持するため、長期間ご使用されない場合でも、一年に一回程度は通電していただくことをおすすめします。

■動作中

- ●電源プラグを抜かないでください。
- ●振動や衝撃を与えたり、本機を移動させたりしないでください。
  移動するときには・・・①電源プラグをコンセントから抜いてください。
  ② iVDR を抜き、本機を動かしてください。
- ● iVDR アクセスランプが点灯中または点滅中のときは、iVDR を抜かないでください。

お知らせ

- ●本体前面の受像ランプが青色に点灯している間、iVDR は高速で回転しています。起動時や回転中に発生する音や振動は故障ではありません。
- ●データ読み取りの状態により、再生画面にまれにノイズが発生することがありますが、これは故障ではありません。

■停電が発生した場合

- ●記録中や再生中に停電等で電源が供給されなくなった場合、iVDR の録画内容が損なわれる可能性があります。

■故障時のお願い

- ●再生画面が一時停止したり乱れが頻繁に発生する場合は、iVDR の故障が考えられます。このような場合は iVDR の交換が必要です。
- ● iVDR を交換する場合、iVDR の録画内容を新しい iVDR に移すことはできません。
- ● iVDR の故障時は、iVDR の保証書をご覧いただき、保証書に記載のお問合せ先にお問い合せください。

■大切な映像を保存するために

- ●故障の場合、iVDR の録画内容が損なわれることがあります。大切な映像を録画する際は、HDD/DVD レコーダーなどによる録画を併用されことをおすすめします。

万一何らかの不具合により、録画や再生ができなかった場合の内容 (データ) の補償や損失、直接・間接の損害について、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

デジタル放送について

デジタル放送には、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送および地上デジタル放送があります。
BS デジタル放送および 110 度 CS デジタル放送は、それぞれ東経 110 度に位置する放送衛星および通信衛星を利用したデジタル放送です。本機では、110 度 CS 対応 BS デジタルアンテナを使用することで、両方の放送を受信することができます。また、地上デジタル放送は、UHF 帯域の電波を使って放送されますので、デジタル放送のチャンネルに対応した UHF アンテナを使用することにより、受信することができます。

デジタルハイビジョン放送 ……………………………………………………………………

デジタルハイビジョンの放送フォーマットは走査線 1125 本（有効 1080 本）飛び越し走査の 1125i（1080i）と走査線 750 本（有効 720 本）順次走査の 750p（720p）放送の 2 種類があり、細部まできれいに表現され、臨場感豊かな映像を楽しめます。また、現行のテレビ放送とほぼ同等の画質のデジタル標準テレビ放送もあります。

多チャンネル放送 ……………………………………………………………………

デジタル信号圧縮技術により、従来のアナログ放送と比較して多チャンネル放送がおこなえます。デジタルハイビジョン放送やデジタル標準テレビ放送の多チャンネル化のほかに、独立データ放送やデジタルラジオ放送もおこなわれます。

データ放送 ……………………………………………………………………

文字や静止画によって必要な情報を選んで画面に表示させることができる新しい放送です。テレビ放送やラジオ放送の番組に連動したデータ放送と、独立したデータ放送の 2 種類のデータ放送があります。データ放送では、電話回線を使用した視聴者参加番組やショッピング、バンキングなどの双方向サービスもあります。(インターネット網への接続が必要な場合もあります。)

サラウンド・ステレオ ……………………………………………………………………

音声信号圧縮技術 MPEG-2 AAC 方式の採用により、最大 5.1 チャンネルのサラウンド音声の番組も放送され、臨場感ある音声をお楽しみいただけます。ただし、5.1 チャンネルのサラウンド音声をお楽しみいただくには AAC 方式の光デジタル音声入力に対応したオーディオ機器を接続する必要があります。
[5.1 チャンネル：5 チャンネルステレオ＋低域強調チャンネル]

電子番組ガイド（EPG：Electronic Program Guide） ……………………………………

デジタル放送では、それぞれの放送に対して約 1 週間分の番組情報が送られることがあります。電子番組ガイドを利用し、画面上にそれぞれのデジタル放送の番組表を表示させ、番組表から番組を選んで詳細情報を表示させたり、録画したい番組を事前に予約したりすることができます。

BS デジタル放送について

BS デジタル放送は、東経 110 度に位置する放送衛星を利用したデジタル放送です。デジタルハイビジョン放送が中心であり、無料放送が多いのも特長です。（一部有料放送もあります）
基本的に放送事業者ごとの放送となるため、視聴契約や登録が必要な場合は放送事業者ごとに申し込みが必要です。

110 度 CS デジタル放送について

110 度 CS デジタル放送は、東経 110 度に位置する通信衛星を利用したデジタル放送です。BS デジタル放送とは異なり、デジタル標準テレビ放送が中心であり、映画、スポーツ、エンターテイメントなど有料専門チャンネルが多いのが特長です。（一部無料放送もあります）

地上デジタル放送について

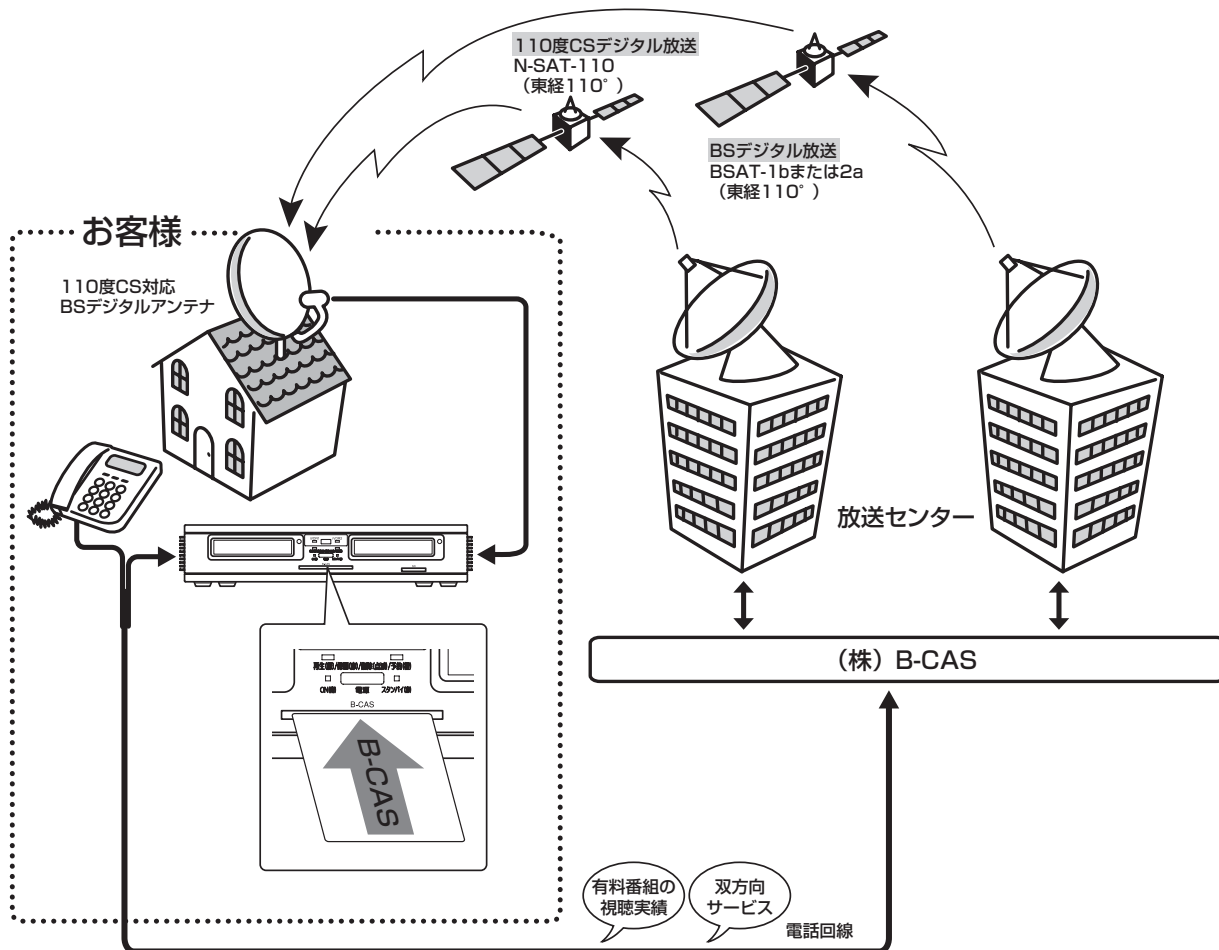
2003 年 12 月から順次、放送を開始している地上波の UHF 帯を使用したデジタル放送です。デジタルハイビジョン放送に加えて、データ放送や双方向データサービスなどがあります。地上アナログ放送に比べてゴーストなどの影響を受けにくいのも特長です。(有料放送はありません。)

お知らせ

- 110 度 CS デジタル放送は、従来の CS デジタル放送　スカイパーフェク TV!(スカパー !)（東経 128 度、124 度の JCSAT-3、JCSAT-4 を利用）とは異なる放送です。従来のスカイパーフェク TV!(スカパー !) 放送を受信するには、専用デジタルチューナーが必要です。本機では受信できません。
- 本機に同梱しております「ファーストステップガイド」内の各放送事業者への申し込み書は、差出有効期限が過ぎたものでもお客様にご迷惑をお掛けすることなく郵送されますので、そのままご投函ください。

受信契約について

B-CAS カードによる限定受信システム（CAS）のしくみ

BS デジタル放送および 110 度 CS デジタル放送では、限定受信システム（CAS）により本機に付属の B-CAS カードを挿入しておくと、有料番組の契約情報が B-CAS カードに記憶されます。その情報は電話回線を使って（株）B-CAS へ自動送信され、管理されます。

B-CAS カードの登録

本機に付属の B-CAS カードの台紙の一部がユーザー登録用はがきになっています。台紙に記載の文面をよくお読みのうえ、ユーザー登録はがきに必要事項を記入･押印してポストに投かんし、B-CAS カードを必ず登録してください。（登録料は無料です）

デジタル放送を視聴する場合には、必ず B-CAS カードを挿入してください。

B-CAS カードは、有料放送の課金や放送局からのメッセージの管理等のほか、著作権保護の為のコピー制御にも利用されています。

BS デジタル放送の有料放送視聴の手続きについて

●WOWOW、スター・チャンネルなどの BS デジタル放送の有料放送サービスを受信するためには、B-CAS カードの登録のほかに、個別の受信契約が必要となります。
●有料放送を視聴するには、お客様の視聴したい番組を放送している放送局へ加入申し込みをして契約する必要があります。本機に同梱されている加入契約書に必要事項をご記入のうえ、ポストに投かんしてください。
●詳しくは、それぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。
●お問い合わせの際は、電話番号はお間違えのないようにお願いいたします。

2007 年 10 月現在の BS デジタル放送局（ＮＨＫと有料放送局）の電話番号、ホームページアドレスおよびチャンネル番号は、次のようになっております。

BS 放送局	お問い合わせ電話番号／ホームページアドレス	BS 放送局	お問い合わせ電話番号／ホームページアドレス
NHK BS1 NHK BS2 NHK デジタルハイビジョン （101、102、103ch）	0120 － 151515 （受信契約専用フリーダイヤル） 受付時間　9:00 ～ 20:00（年中無休） http://www.nhk.or.jp/	WOWOW （191、192、193ch）	0120 － 480801（フリーダイヤル） 受付時間　9:00 ～ 20:00（年中無休） http://www.wowow.co.jp/
NHK 衛星放送受信契約をされていない方は、NHK と衛星放送受信契約が必要です。		WOWOWはテレビ放送のみの視聴申し込みが必要な放送です。 独立データ放送（791ch）は無料放送です。	
スター・チャンネル 総合案内窓口 （200ch）	03 － 5563 － 6777 受付時間　10:00 ～ 18:00（年中無休） http://www.star-ch.co.jp/ スターチャンネル BS に関わるお問い合わせは、e2 by スカパー！カスタマーセンターにお願いいたします。		
スター・チャンネル BS はテレビ放送のみの視聴申し込みが必要な放送です。独立データ放送（800ch）は無料放送です。			

お知らせ

● NHK では、BS デジタル放送のメッセージ機能を利用して受信確認を行っています。すでに NHK と衛星放送受信契約されていても、本機に同梱されている「B-CAS カードユーザー登録はがき」をお送りいただけない場合、または、はがきを送っても下部の「はい」に○がついていない場合は、B-CAS カードを挿入して 30 日経過後、NHK － BS デジタル放送のチャンネルに合わせると、画面左下にＮＨＫへのご連絡をお願いするメッセージが表示されます。このメッセージは、画面に表示される NHK のフリーダイヤルにお電話いただき、B-CAS カード番号、住所、お名前、電話番号などをお伝えいただければ、表示されなくなります。
●一部のデータ放送など、無料放送でもユーザー登録が必要な場合があります。詳しくは、それぞれの放送局へお問い合わせください。

110 度 CS デジタル放送の有料放送視聴の手続きについて

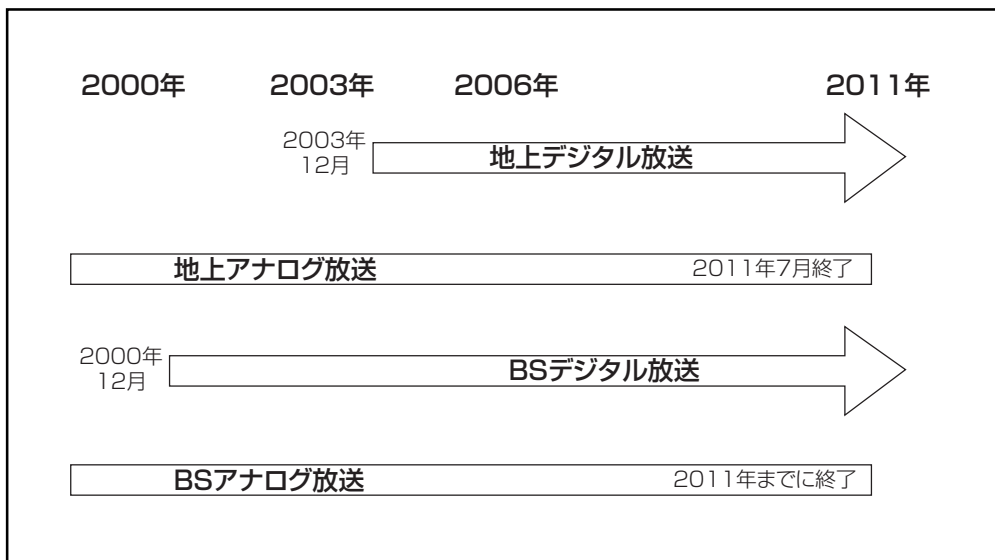
● 110 度 CS デジタル放送の有料放送サービスを受信するためには、BS デジタル放送と異なり、個別チャンネルの放送事業者毎ではなく、「e2 by スカパー！（旧スカパー！110)」が、放送チャンネル受信契約の代行を行うこととなります。
● 110 度 CS デジタル放送では、チャンネル毎の受信契約のほかに、個別に契約申込されるよりも視聴料金がお得なパック契約が用意される場合があります。
●詳しくは、カスタマーセンターへお問い合わせください。
●お問い合わせの際は、電話番号はお間違えのないようにお願いいたします。

2007 年 10 月現在の 110 度 CS デジタル放送のカスタマーセンター電話番号とホームページアドレスは次のようになっております。

110 度 CS デジタル放送	お問い合わせ電話番号／ホームページアドレス
e2 by スカパー！カスタマーセンター	**0570 ー 08 ー 1212** PHS,IP 電話のお客様は **045-276-7777** 受付時間　10:00 ～ 20:00（年中無休） http://www.e2sptv.jp/

アナログ放送からデジタル放送への移行について

デジタル放送への移行スケジュール

2006 年 12 月から全国の都道府県庁所在地において地上デジタル放送が見られるようになりました。その後、その受信可能エリアは順次拡大される予定です。地上デジタル放送の受信エリアのめやすは、総務省またはお近くの地方総合通信局にお問い合わせください。
この放送のデジタル化に伴い、地上アナログ放送は 2011 年 7 月までに、BS アナログテレビ放送は 2011 年までに終了することが、国の法令によって定められています。

お知らせ

- ●地上デジタル放送は、現在の地上アナログ放送との混信をさけるために、当初は非常に小さな出力で放送が開始され、段階的に送出出力が上げられていく予定です。このため、放送開始当初は受信エリアが限定されます。
- ●ブースターなどをご使用されている場合は、段階的に送出出力が上げられた際に、ご使用のブースターなどのレベル調整が必要な場合があります。このような場合は、お買い上げの販売店またはアンテナ工事業者にご相談ください。

接続する

各部のなまえ

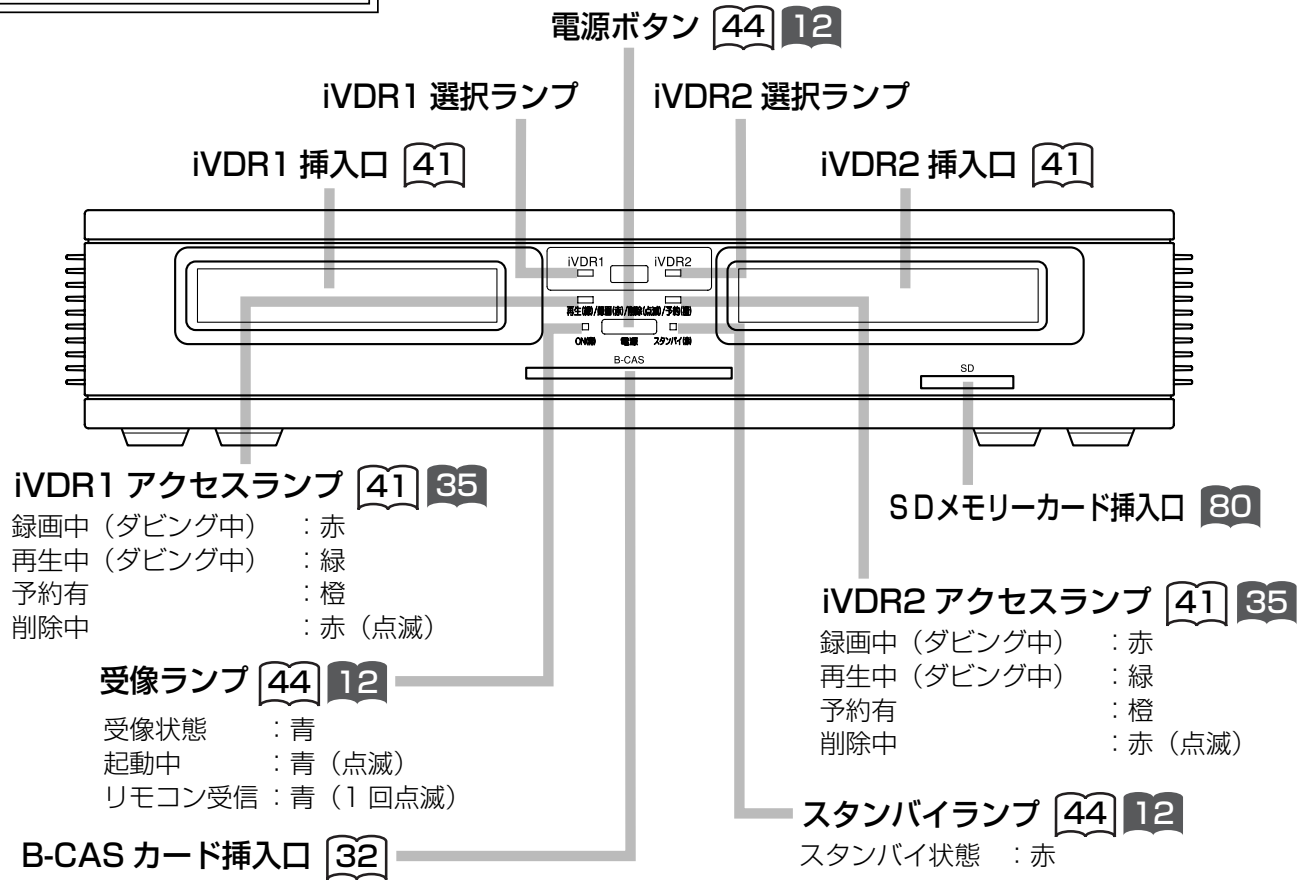
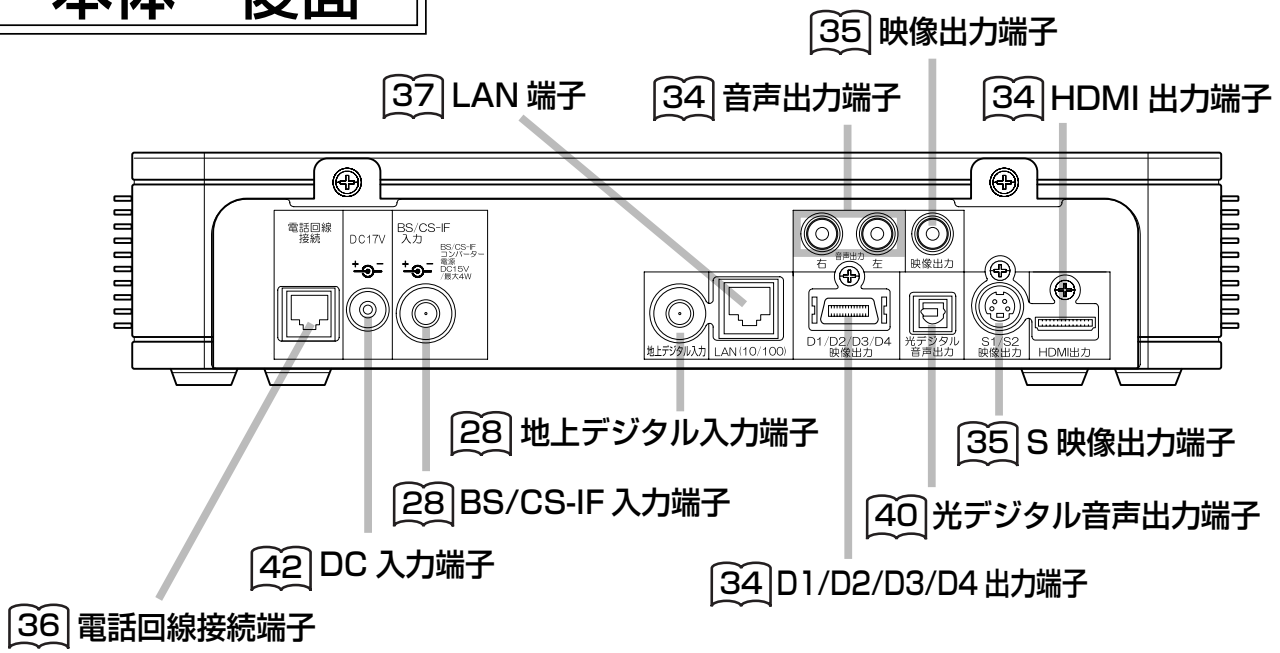
リモコン

メ　モ

参照ページマークについて

□マークは、「① 準備編」の取扱説明書（本書）の参照ページを表しています。

■マークは、「② 操作編」の取扱説明書（別冊）の参照ページを表しています。

本体　前面

本体　後面

お知らせ

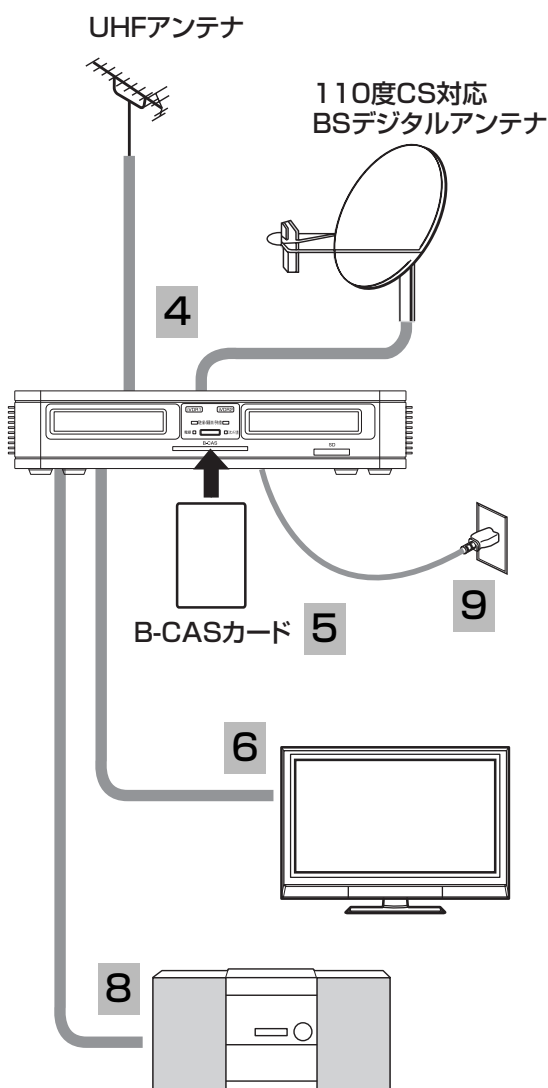
操作ができなくなった場合は
電源プラグを抜いて、スタンバイ / 受像ランプが消灯してから再度電源プラグを差し込んでください。

将来発売予定の機器との接続

テレビ関連機器の中には、現在開発中で数年後に実用化されると思われる機器がいくつかあり、システムアップが可能となります。使い方など、詳しくは各接続機器の取扱説明書をご覧ください。

設置と準備の進めかた

重要 本機の設置やアンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
（設置・準備費用については、お買上げの販売店にご相談ください。）

ご自分で設置と準備をされるときは、下記の順番で作業してください。

1 付属品を確認します 2

2 本機を据え付けます 25

3 リモコンに電池をいれます 26

4 アンテナ線と本機を接続します 28 , 30

5 B-CAS カードを挿入します (重要) 32

6 テレビに接続します 33

7 電話回線、LAN インターフェースを接続します 36 , 37

8 お手持ちの機器を接続します 40
■ デジタル音声入力端子付きオーディオ機器

9 電源プラグをつなぎます 42

10 かんたんセットアップで受信設定をします 45
メニューからの受信設定も可能です。 71

11 電話回線、ISP(プロバイダー)、LAN を設定します 58 , 65 , 67

地上デジタル放送を受信するには

地上デジタル放送を受信するには、下記の要件がすべて整っていることが必要です。

1. 受信地点は、すでに放送地域になっていますか？

2006 年 12 月から全国の都道府県庁所在地において地上デジタル放送が見られるようになりました。その後、その受信可能エリアは順次拡大される予定です。地上デジタル放送の受信エリアのめやすは、総務省またはお近くの地方総合通信局にお問い合わせください。

2. UHF アンテナは、地上デジタル放送に対応していますか？

UHF アンテナには全帯域型と帯域専用型がありますので、全帯域型または地上デジタル放送対応型をご使用ください。

3. UHF アンテナは、地上デジタル放送の送信塔の方向に向いていますか？

現在お住まいの地域で、地上デジタル放送の送信塔が地上アナログ放送と同じ方向の場合は、そのままの向きで地上デジタル放送を受信できますが, 送信塔の方向が違う場合は、アンテナの向きを地上デジタル放送の送信塔の方向に変更する必要があります。

4. 地上デジタル放送受信機の入力信号は、所定の信号強度がありますか？

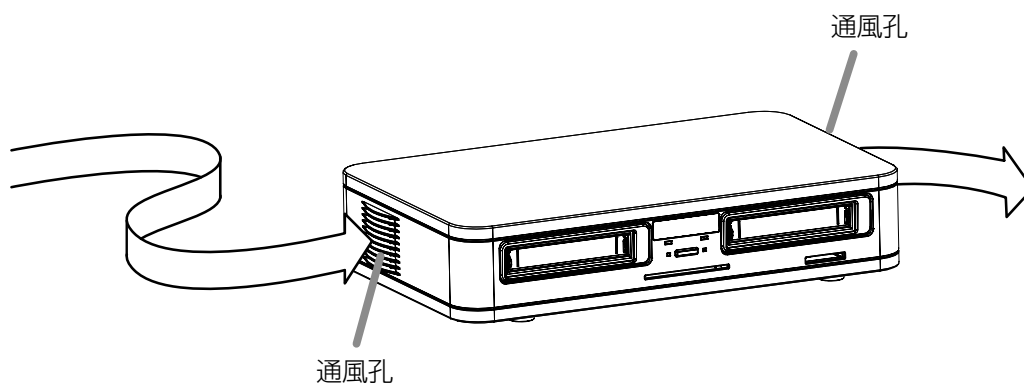
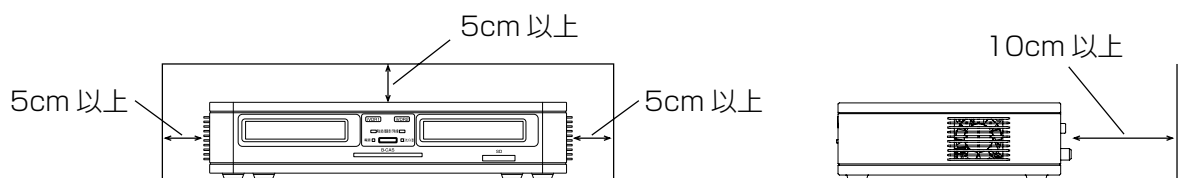
地上デジタル放送は、現在のアナログ放送との混信を避けるために、当初は非常に小さな出力で放送されますので、受信エリアが限定されます。また、受信エリア内であっても、地形やビル陰などによって電波がさえぎられる場合や電波の伝搬状況などにより、視聴できない場合があります。

●ケーブルテレビまたは共聴・集合住宅施設でご視聴の方は、ケーブル事業者または共聴施設管理者にお問い合わせください。

●地上デジタル放送を受信するためには、最初に「地域名」の設定と「初期スキャン」の操作が必要です。 72

据え付けについて

据え付けるときのご注意

① 本機の周囲は放熱のための空間を十分に確保してください。
① 密閉したケースや棚などに設置したり、通風孔をふさいだりすると内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。
② 強い衝撃や振動が加わらない場所に設置してください。iVDR に衝撃や振動が加わると、録画再生不良が発生しやすくなります。

リモコンの取り扱い

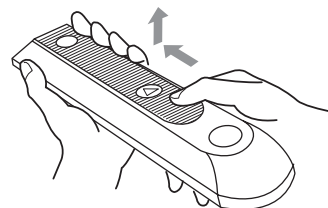
⚠注意

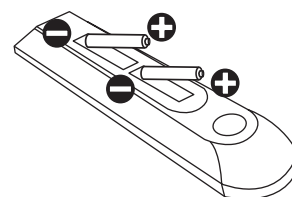
乾電池の使用上のご注意

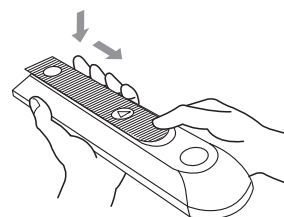
●本機で指定されていない電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。

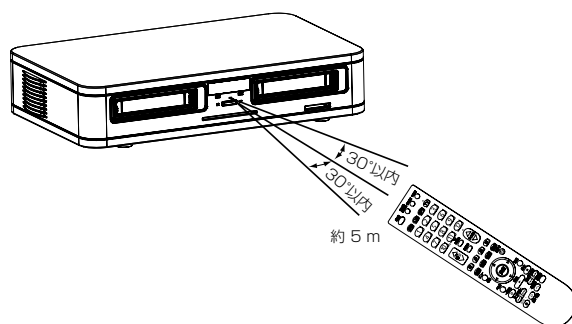
●電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラスとマイナスの向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。まちがえますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

1 電池ぶたをはずす

矢印の方向に押しながら開けます。

2 乾電池を入れる

付属の単３形乾電池を⊕、⊖の表示どおりに入れます。

3 電池ぶたを閉める

電池ぶたを矢印の方向に押して戻します。

●リモコンは、本機のリモコン受信窓に向けて操作します。

●リモコンは、それぞれのリモコン受信窓の正面から約５メートル、左 30 度、右 30 度の範囲内でお使いください。

お守りください **リモコンの使用上のご注意**

●リモコンを落としたり、衝撃を与えないでください。

●リモコンに水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。故障の原因になります。

●長時間ご使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。

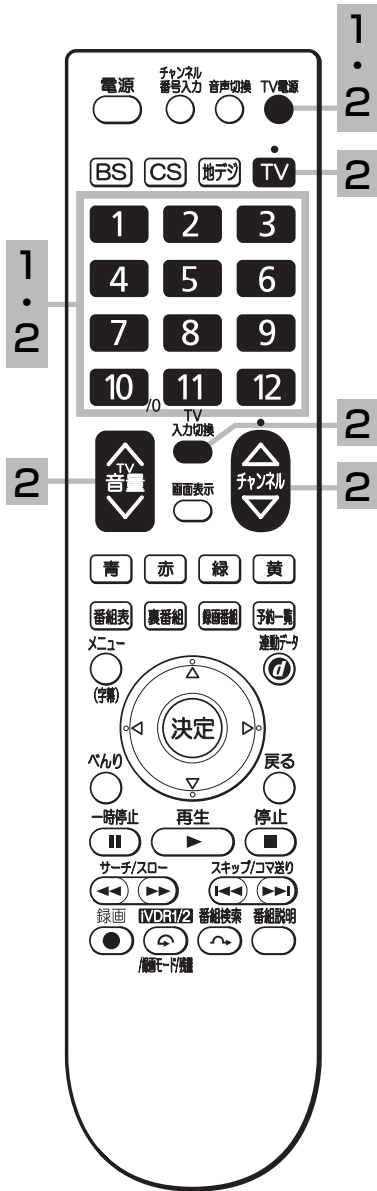
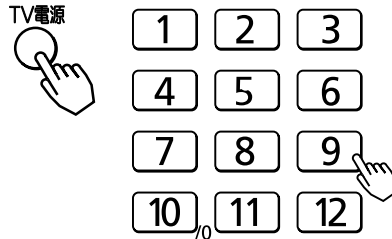
●リモコンの操作がしにくくなった場合は、乾電池を交換してください。
乾電池を入れる前に、乾布などで電池端子部をきれいにふいてください。端子部が汚れていると、接触不良のために正常に動作しないことがあります。

●リモコン受信窓に直射日光などの強い光が当たると動作しなくなることがあります。光が直接当たらないように本機の向きを変えてください。

●電子レンジなどの加熱料理器に、リモコン送信機・乾電池を入れて加熱しないでください。発熱により火災・故障の原因になります。

●ふた無しで使用すると、金属物などで乾電池がショートし発熱、液もれ、破裂などさせるおそれがありますので、必ずふたを閉めてご使用ください。

リモコンでテレビを操作できるようにする

本機と接続しているテレビをリモコンで操作できるように設定します。

1 TV 電源ボタンを押しながら、数字ボタン（2 桁）を押す。

●メーカー番号は下記の表をご覧ください。メーカー番号が複数ある場合は、テレビの音量調節などを正しく操作できる番号を選んでください。

例）番号「01」を入力するとき

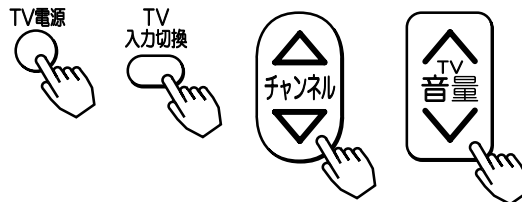
[10]を押してから[1]を押します。

メーカー	番号	メーカー	番号
日立	01	シャープ（1）	09
松下（1）	02	シャープ（2）	10
ビクター	03	富士通ゼネラル	11
ソニー	04	NEC	12
東芝	05	日立 / 松下（2）	13
三菱	06	松下（3）	14
サンヨー（1）	07	松下（4）	15
サンヨー（2）	08	パイオニア	16

2 リモコンをテレビに向け、TV 電源ボタン、TV 入力切換ボタン、チャンネルアップ / ダウンボタン、音量ボタンなどを押して、テレビを操作できるか確認する

●テレビ側のチャンネル△▽操作を行う場合は、チャンネル△▽ボタンを押す前に TV ボタンを押してから操作をしてください。

●本機のチャンネル△▽操作に戻すには、[BS] [CS] [地デジ] のいずれかを押してください。

●ご使用になるテレビ（プラズマテレビ、液晶テレビを含む）の製造年度や形式により、操作できない、あるいは一部のボタンが働かない場合があります。この場合は、テレビに付属のリモコンをお使いください。

お知らせ

●お買い上げ時は、「日立」（メーカー番号「01」）に設定されています。

●リモコンの乾電池を交換すると、「日立」に戻ります。他の設定でお使いの場合は、もう一度メーカー番号を設定してください。

●下記の日立製 BS ハイビジョンテレビをご使用の場合は、メーカー番号を「13」に合わせてください。

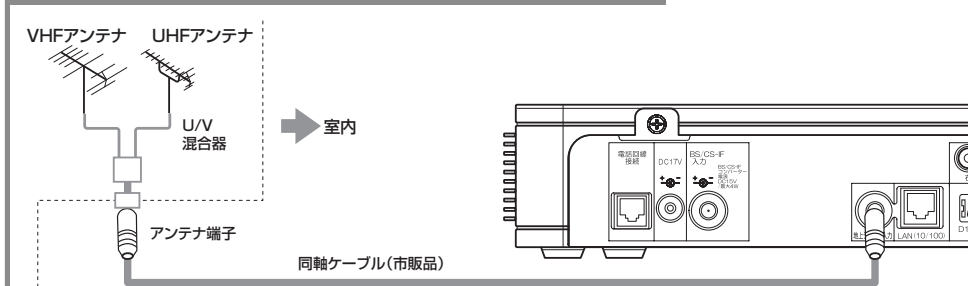
· W32-DH2000W　· W36-DH2000
· 36CL-DH2200　· 32CL-DH2200

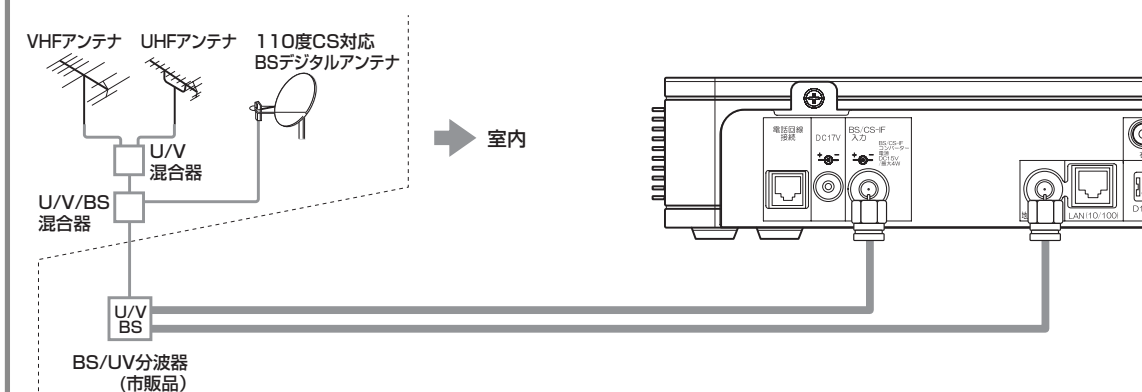
アンテナと接続する

⚠注意
アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

①アンテナの種類に応じ、下図の要領で地上デジタル入力端子に接続してください。
②地上デジタル放送を受信するときは、UHF アンテナを使用します。VHF アンテナでは受信できません。また、現在お使いのアンテナが UHF アンテナでも、調節や取り替えが必要な場合もありますので、その際は、販売店にご相談ください。
③本機の地上デジタル入力端子への接続に市販の U/V 混合器やアンテナアダプターを使用する場合は、できるだけ本機より離して接続してください。
④ CATV ケーブルと接続するときは、伝送方式や接続について詳しくは CATV 会社にお問い合わせください。
⑤テレビの内蔵チューナーでデジタル放送や地上アナログ放送を楽しみたい場合は、分配器が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

UHF/VHF アンテナの接続

UHF/VHF アンテナが混合のとき

① 同軸ケーブル（市販品）を本機の地上デジタル入力端子に接続する。
② 同軸ケーブル（市販品）の反対側をお部屋のアンテナ端子と接続する。

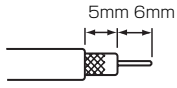
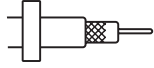
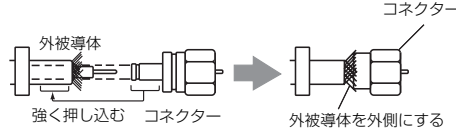
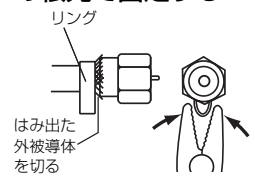
BS・CS が混合のとき（例：UHF/VHF/BS 混合入力）

① BS/UV 分波器の UV 出力を本機の地上デジタル入力端子に接続する。
② BS/UV 分波器の BS 出力を本機の BS/CS-IF アンテナ入力端子に接続する。(30 もご覧ください)。

お守りください

アンテナ線接続時のご注意
●アンテナ線には、妨害の少ない同軸ケーブルの使用をおすすめします。
（平行フィーダーを使用しますと受信状態が不安定となり、妨害電波を受けやすく、ブロックノイズが発生したりします。）
●やむを得ず平行フィーダーを使用する場合は、本機よりできるだけ離してください。
●室内アンテナ線も妨害電波を受けやすいので、お避けください。
●アンテナに対して、電源コードや他の接続コード類をできる限り離してください。

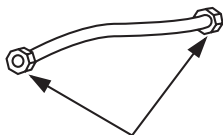
F 形接栓（市販品）の接続

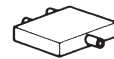
1 先端を加工する

5mm 6mm

2 リングを通す

3 コネクター先端部を外被導体内側に差し込み、強く押し込む

4 ペンチなどを使い、リングをコネクターの根元で固定する

きれいな映像を楽しむために

きれいな映像をお楽しみいただくには、アンテナ線や各種ケーブル類の接続状態が非常に大切です。

- アンテナ線は同軸ケーブルに F 形接栓を接続して使用することをおすすめします。

同軸ケーブル（市販品）

F 形接栓（市販品）

- BS/UV 分波器・分配器はシールドタイプの使用をおすすめします。

プラスチックタイプ（市販品）　**金属シールドタイプ（市販品）**

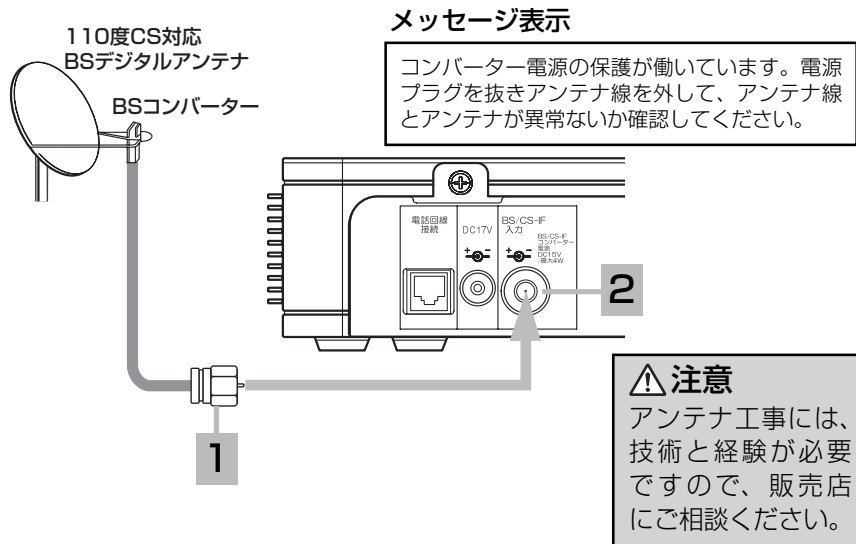
CATV ケーブルと接続するときの地上デジタル放送受信について

CATV には、以下のような地上デジタル放送の伝送方式があります。詳しくは、CATV 会社にお問い合わせください。

伝送方式	本機の対応
トランスモジュレーション方式	UHF 帯の地上デジタル放送をケーブルテレビ局の電波に変換して伝送します。本機のアンテナ端子に接続しても地上デジタル放送を受信できません。
同一周波数パススルー方式	UHF 帯の地上デジタル放送を変換しないでそのまま伝送します。本機の UHF/VHF アンテナ端子に接続して地上デジタル放送を受信することができます。
周波数変換パススルー方式	UHF 帯の地上デジタル放送を CATV で伝送可能な別の周波数に変換して伝送します。本機の UHF/VHF アンテナ端子に接続して地上デジタル放送を受信することができます。

アンテナと接続する

BS/CS アンテナの接続

接続するときには安全のため、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。下記メッセージが表示される場合は、本機の電源を切ってから 110 度 CS 対応 BS デジタルアンテナを確認し、もう一度電源を入れてください。現象がなおらない場合は、コンバーター電源を「切」に設定 84 して、お買い上げの販売店にご相談ください。

1 BS/CS アンテナ線の同軸ケーブルを F 形接栓（市販品）に接続する 29

UHF, VHF, BS が混合されているときには、BS/UV 分波器 (市販品) が必要です。 28

2 F 形接栓を BS/CS-IF 入力端子に接続する

BS/CS-IF 入力端子は、BS コンバーターからの信号を受けるための端子です。また、この端子から BS コンバーターに DC ＋ 15V を供給します。BS アンテナ線を接続するときには必ず本機の電源を切ってください。

お守りください

- 共聴受信等で視聴される（電源供給を必要としない）場合には、「受信設定（BS・CS）」 84 をご覧になって、コンバーター電源の設定を必ず「切」にしてご使用ください。
- アンテナを接続するときは、安全のため、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- BS/CS-IF 入力端子に F 形接栓を接続するときは、手で緩まない程度に締めつけてください。締めつけすぎると本機内部が破損する場合があります。

アンテナ線の接続についてのご注意

衛星放送を分配して他の機器で (衛星放送を) 視聴する場合、分配器は必ず多端子タイプの電流通過形をご使用ください。多端子タイプ電流通過形でない場合は、アンテナに供給している機器の電源を切ると、他の機器で衛星放送が受信できなくなります。

お知らせ

●アナログ CS 用アンテナや従来のスカイパーフェク TV ！用アンテナ（JCSAT-3、JCSAT-4 受信用）はご使用になれません。110 度 CS デジタル放送を受信する場合は、110 度 CS 対応 BS デジタルアンテナをご使用ください。
●ブースターや分配器をご使用になる場合は、110 度 CS 対応（周波数 2,150MHz 対応以上）であることをご確認の上、ご使用ください。従来の BS 用で周波数帯域が 1,335MHz のものや、CS 対応でも対応周波数が 1,895MHz などの 2,150MHz 未満のものをご使用になった場合、110 度 CS デジタル放送の一部もしくはすべてのチャンネルが受信できない場合があります。
●マンションなどの共同受信システムの場合で、110 度 CS デジタル放送に対応していない場合は、110 度 CS デジタル放送を受信できません。
● BS アンテナを使用する場合は、BS デジタル放送のみの受信が可能です。この場合、従来の BS アンテナのほとんどは使用できますが、一部の BS アンテナでは性能の劣化や BS デジタル放送受信に必要な性能が確保されず、BS デジタル放送を受信したとき、安定した受信ができないことがあります。このようなときは、BS アンテナ製造元のお客様窓口や、BS アンテナを購入した販売店などにお問い合わせください。

メ　モ

BS/CS アンテナ線の接続についてのお願い

● F 形接栓（市販品）をご使用ください。
●アンテナの方向調整、設置についてはアンテナの取扱説明書をご覧いただくか、お買い上げの販売店にご相談ください。

映りがよくないときには

衛星放送の電波は微弱なため、受信するにはアンテナ方向の正確な調整が必要です。もし、時々映像や音声が出なくなったりするときは販売店にご相談ください。また、雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声が止まったり、ひどい場合にはまったく受信できないことがあります。これは、気象条件によるもので、アンテナやチューナーの故障ではありません。受信レベルについては 81 をご覧ください。

デジタル放送録画時のご注意

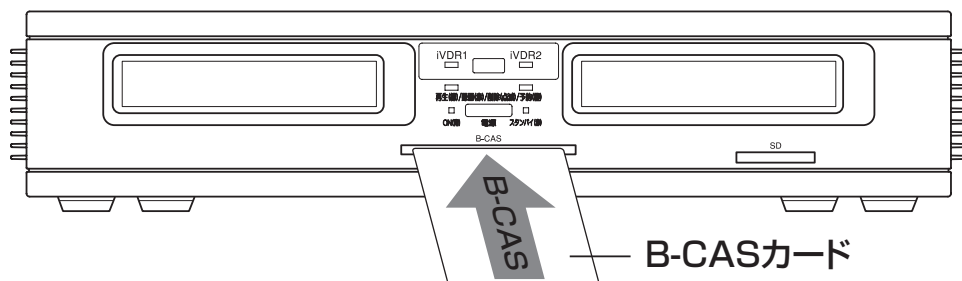
デジタル放送の受信状態が悪いときに、iVDR へ TSE、XP、SP、LP、EP モードで録画すると、一時的に映像や音声が止まったりする場合があります。画面に映っている映像よりも悪くなります。これは、入力電波にノイズが入り本機内部での再圧縮ができなくなるもので故障ではありません。

B-CAS カードを挿入する (重要)

本機に付属の B-CAS カードは、本機の電源プラグを電源コンセントに接続しない状態で、下記の手順に従って挿入してください。

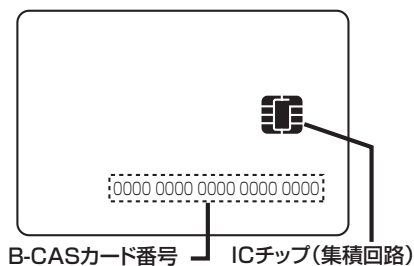
1 B-CAS カードを挿入する

絵柄表示が見える面を上にして、B-CAS カード表面の矢印の向きを挿入口へ合わせ、挿入が止まるまでゆっくりと押し込む。

●カチッという感触があるまで確実に挿入してください。

メモ

B-CAS カード番号 (カード ID) は、カードを挿入したままでも本機で確認することができます。
操作方法は、「インフォメーションの確認」(②操作編 97) をご覧ください。

B-CAS カードについて

本機に付属の B-CAS カードには 1 枚ごとに違う番号（B-CAS カード番号）が付与されています。B-CAS カード番号はお客様の有料放送契約内容などを管理するために使われている大切な番号です。「(株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター」への問い合わせの際にも必要となります。
本機に付属の B-CAS カードの台紙の一部がユーザー登録用はがきになっています。台紙に記載の文面をよくお読みのうえ、ユーザー登録はがきに必要事項をご記入･押印してポストに投かんし、B-CAS カードを必ず登録してください。（登録料は無料です。）

お守りください

B-CAS カード取り扱い上の留意点

- B-CAS カードを折り曲げたり、変形させないでください。
- B-CAS カードの上に重いものを置いたり踏みつけたりしないでください。
- B-CAS カードに水をかけたり、ぬれた手でさわらないでください。
- B-CAS カードの IC（集積回路）部には手をふれないでください。
- B-CAS カードの分解加工は行わないでください。
- B-CAS カードは上記手順をご覧のうえ、本機の B-CAS カード挿入口に、奥まで正しく挿入してください。B-CAS カードを正しく挿入しないと、有料放送や一部のデータ放送を視聴することができません。
- ご使用中に B-CAS カードの抜き差しはしないでください。デジタル放送が視聴できなくなる場合があります。

B-CAS カードを抜くとき

万一、抜く必要があるときは、本機の電源プラグを電源コンセントから抜いたあと、ゆっくり B-CAS カードを抜いてください。B-CAS カードには IC (集積回路) が組み込まれているため､画面に B-CAS カードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差しをしないでください。

お知らせ

- 本機専用の B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違うと B-CAS カードは機能しません。
- WOWOW、スターチャンネルなどの有料サービスを受けるには、B-CAS カードの登録のほかに個別の受信契約が必要になります。詳しくはそれぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。

テレビに接続する

テレビの入力端子を確認する

ご使用のテレビの映像信号入力端子の種類によって、接続方法が異なります。テレビの端子を確認し、どれか 1 つの方法で接続してください。映像品質の良い順に接続方法を並べると、次のようになります。

HDMI 端子→ D 映像端子→コンポーネント映像端子→ S 映像端子→映像端子

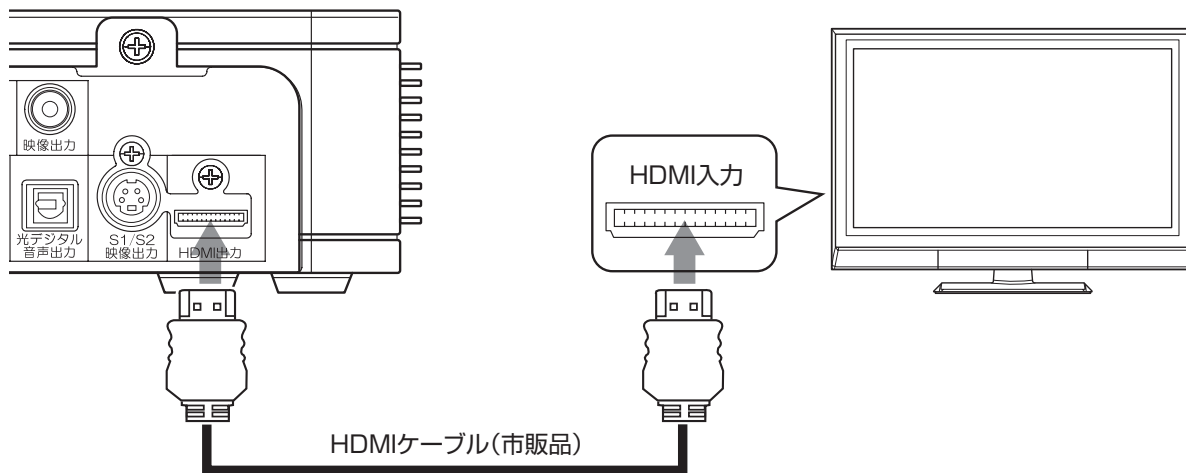
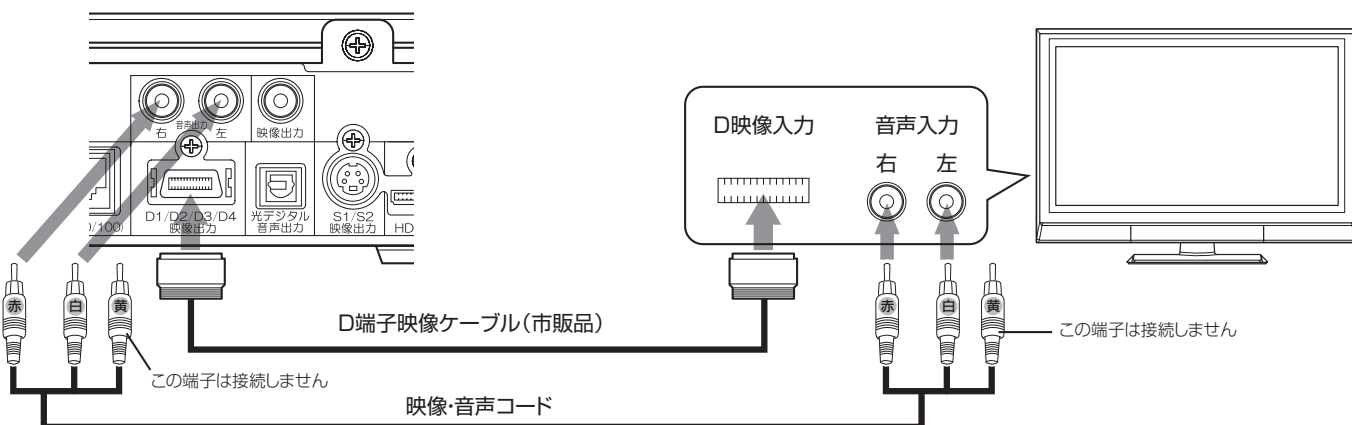
HDMI 入力端子	テレビにこの入力端子があると、本機からデジタル映像と音声の両信号を、1 本のケーブルで、高品質のままテレビに送ることができます。 接続方法は、「HDMI 端子と接続する場合」34をご覧ください。
D 映像入力端子	HDMI 端子接続の次にお勧めする接続方法です。コンポーネント映像入力端子よりも高品質な映像が得られます。 接続方法は、「D 映像端子と接続する場合」34をご覧ください。
コンポーネント映像入力端子	D 映像入力端子接続の次にお勧めする接続方法です。S 映像端子よりも高品質な映像が得られます。接続方法は、「コンポーネント端子と接続する場合」34をご覧ください。
S 映像入力端子	映像端子よりも質の良い画像が得られます。接続方法は、「S 映像端子と接続する場合」35をご覧ください。
映像入力端子	テレビに映像端子しかない場合は、この端子と接続してください。接続方法は、「映像端子と接続する場合」35をご覧ください。

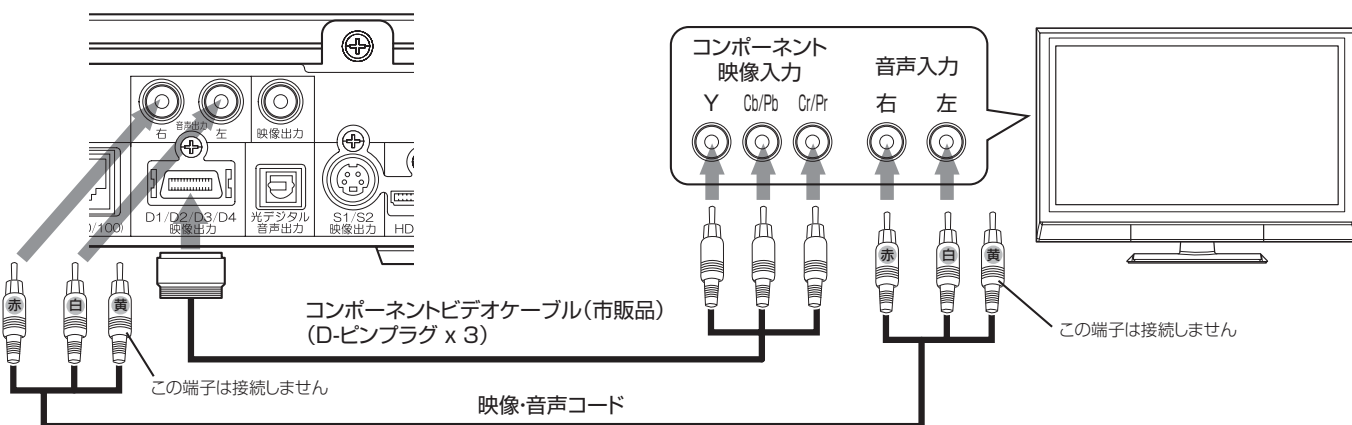
接続する

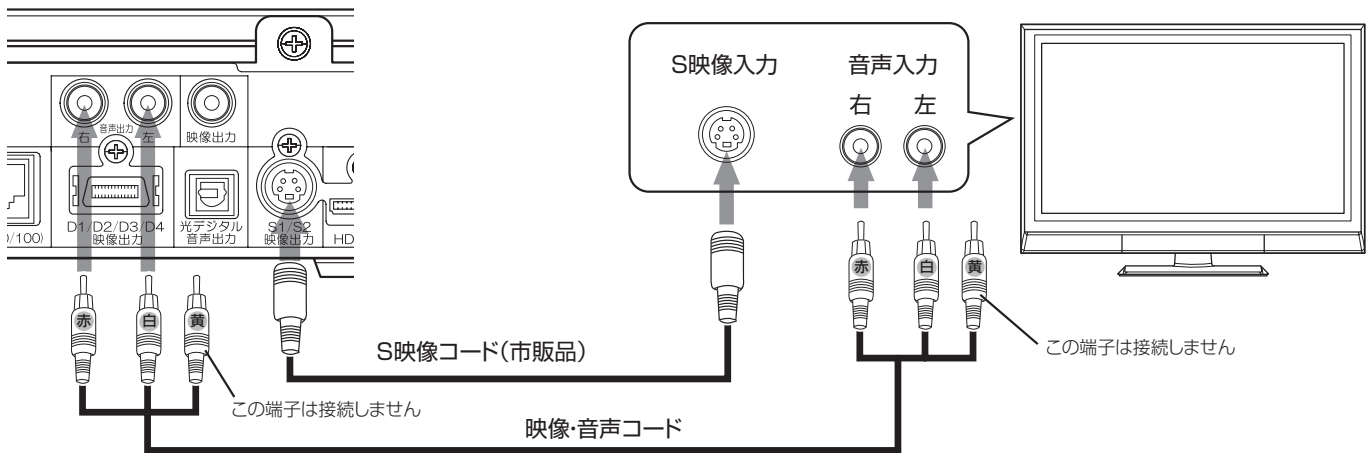
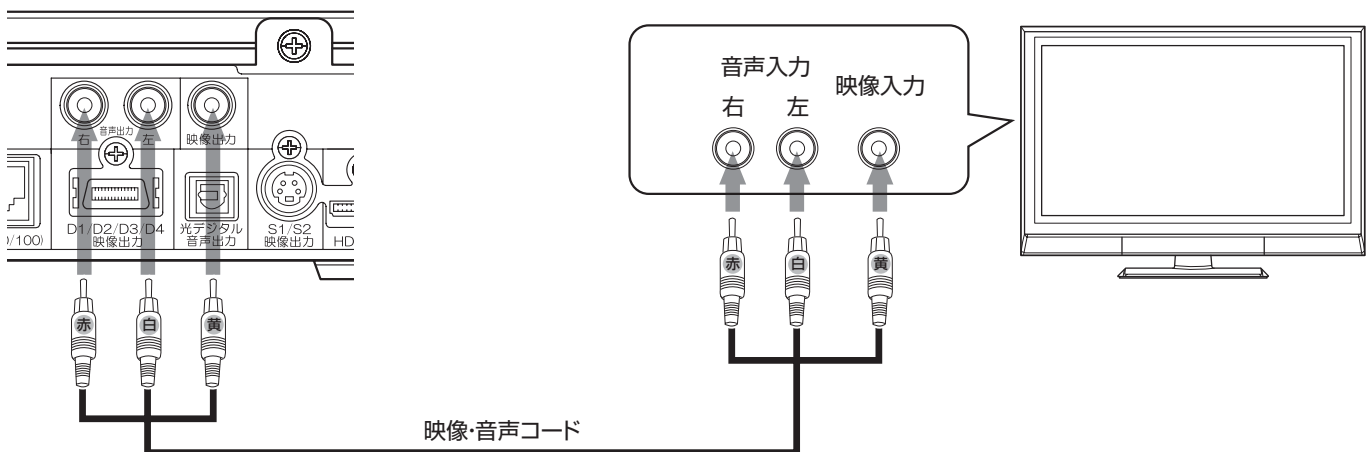
お知らせ

- ビデオデッキ経由で本機とテレビを接続しないでください。コピーガードの影響により、再生時に画面が乱れることがあります。
- ビデオ内蔵テレビと本機を接続するときは、ビデオ側ではなく、テレビ側の入力端子に映像・音声コードを接続してください。画面の乱れが発生する場合は、他のテレビと接続してください。
- D1/D2 映像入力端子のあるテレビに接続する場合は、D 端子をいったん外して「映像端子と接続する場合」35の接続を行ってから、「接続するテレビに合わせて設定する」56の「D 端子出力設定」を「D1(525i)」または「D2(525i)」に設定してください。「D 端子出力設定」の設定が正しくないと、D 映像出力端子からの映像がテレビに映りません。
- HDMI 出力(または D 出力端子)の映像に比べ映像端子(または S 映像出力端子)は、わずかに遅れます。音声の進み、または遅れが気になる場合には、「モニター音声遅延設定」(②操作編 85) で調節してください。
- D 映像端子をご使用のときは、音声コードは音声出力端子に接続してください。
- アナログハイビジョン出力(D3/D4)が禁止される場合があります。この場合、D 端子を外し、他の端子(HDMI/S 映像 / 映像)でテレビと接続してください。
- S 映像端子 / 映像端子
  お使いのテレビにオートワイドやスムーズワイド機能がある場合、画面上の表示が一部見えなくなることがあります。そのような場合は、テレビの表示モードをフルモード(16：9　固定表示モード)またはノーマルモード(4：3　固定表示モード)に切り換えてください。
- S 映像端子
  本機は自動的にワイドテレビの画面表示を切り換える S1/S2 規格に対応しています。

テレビに接続する

HDMI 端子と接続する場合

D 映像端子と接続する場合

●音声コードは、必ず音声出力端子に接続してください。

コンポーネント端子と接続する場合

●音声コードは、必ず音声出力端子に接続してください。
●お使いのテレビのコンポーネント端子がハイビジョン専用（Y、Pb、Pr）の場合は、本機の出力をハイビジョンD3(1125i）に設定してください。

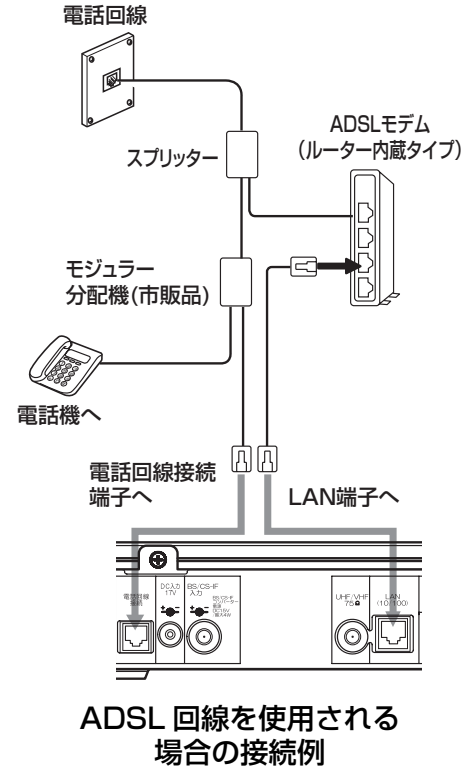
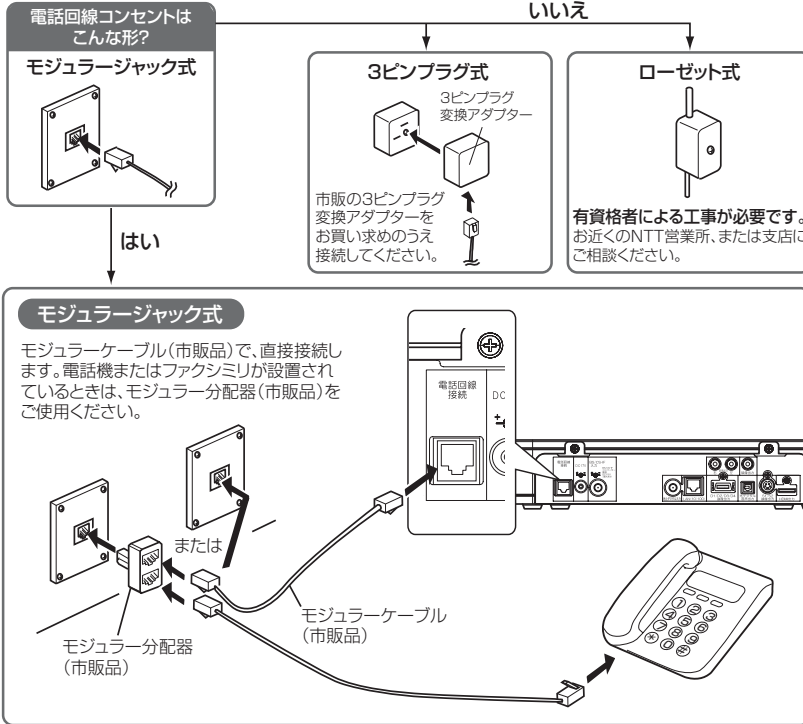
S 映像端子と接続する場合

映像端子と接続する場合

接続する

お知らせ

- HDMI ケーブルは、HDMIの表示があるケーブルを使ってください。
- 本機の HDMI 端子を変換ケーブルなどを使ってテレビやモニターの DVI 端子に接続した場合、映像を出力することはできません。

電話回線と接続する

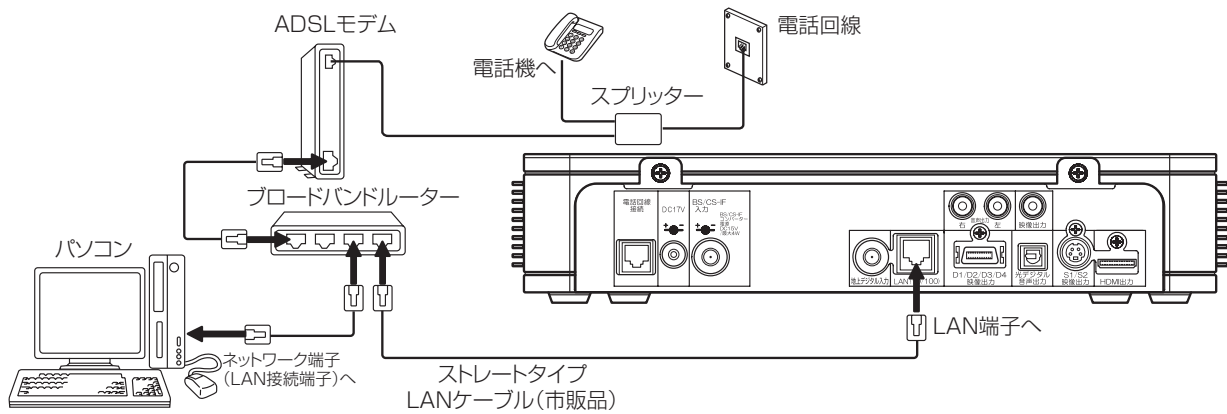
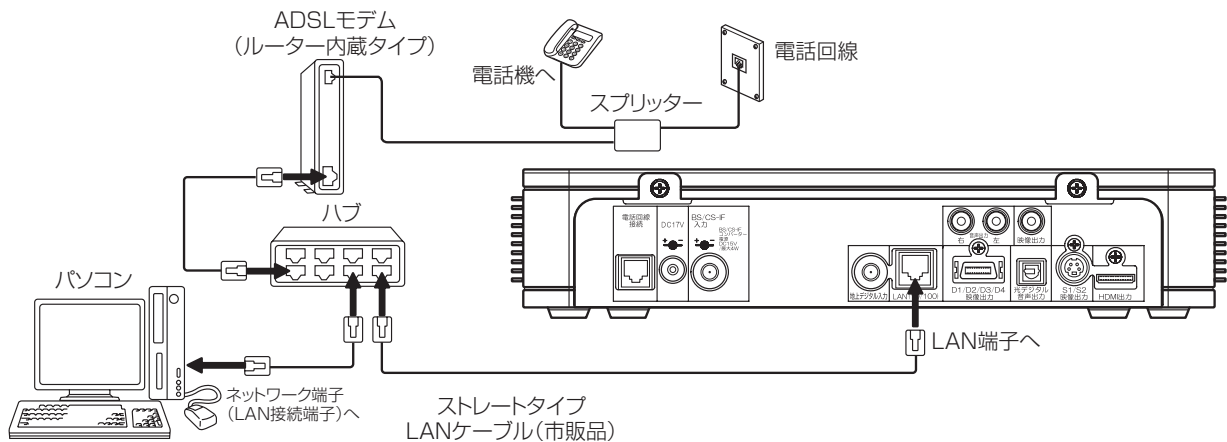
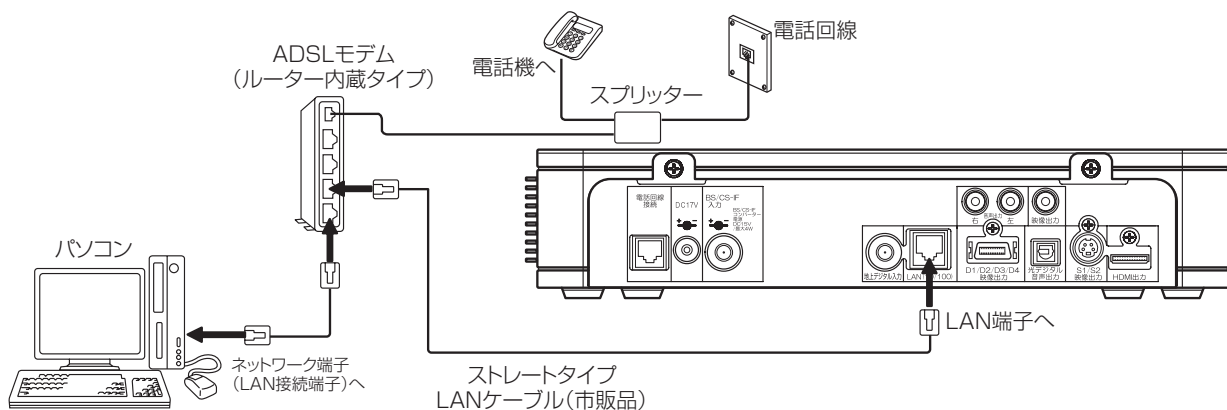
本機は、モジュラージャック式のジャックから電話回線に直接接続できるようになっています。
ご使用の電話回線コンセントがモジュラージャック式でない場合は、変換アダプターまたは工事が必要です。

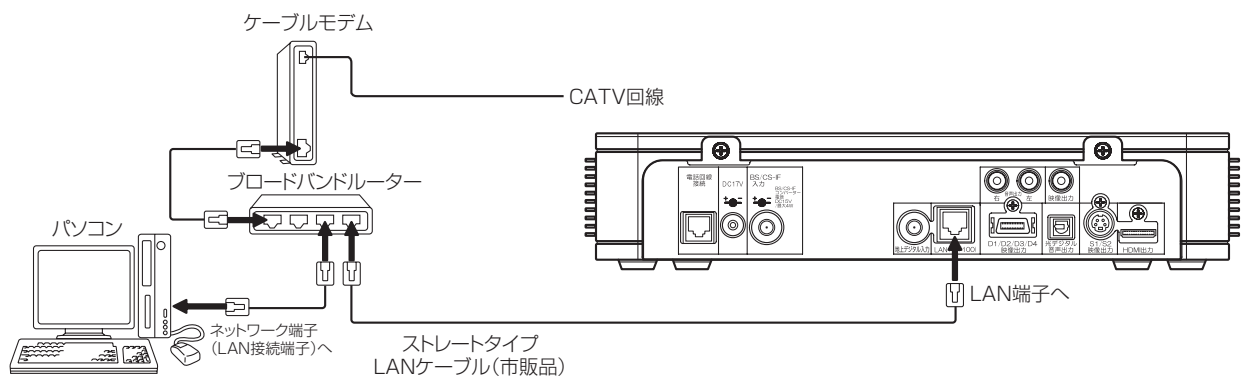
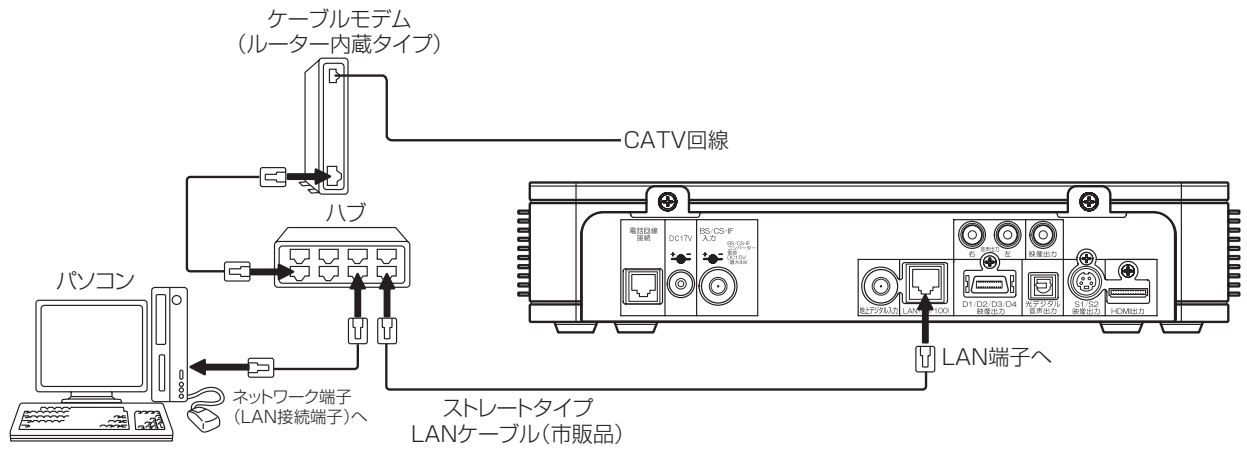
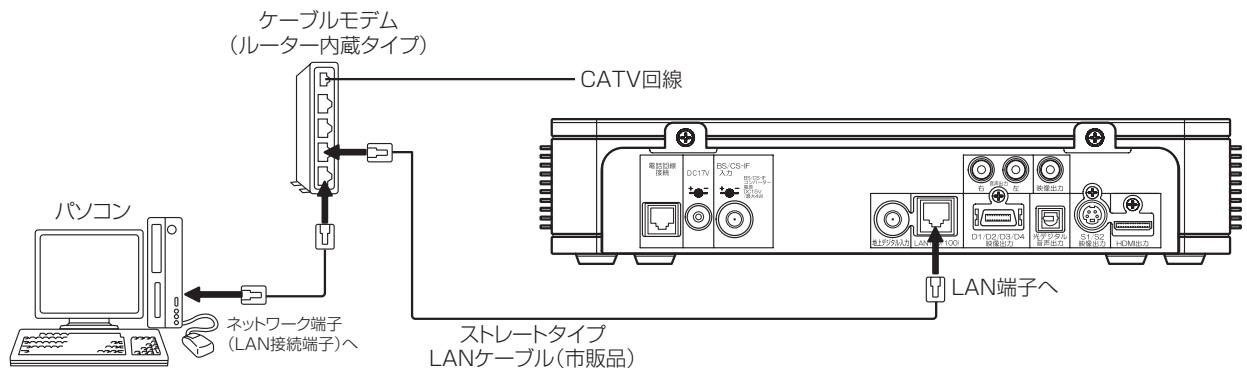
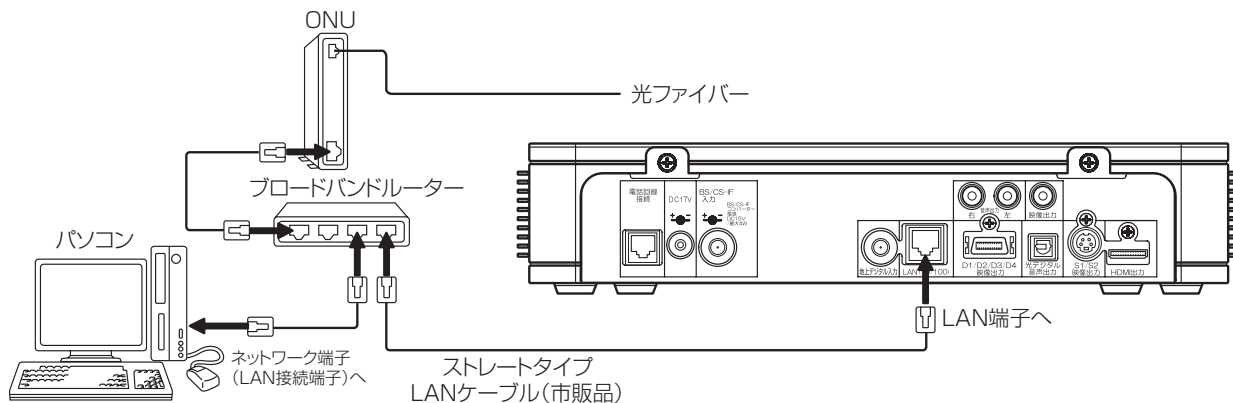
重要 ホームテレホンやビジネスホンをご使用の場合は、販売店か NTT 営業所、または支店にご相談ください。

お知らせ

- ● ISDN 回線でご使用になる場合は、ターミナルアダプターの取扱説明書をよくご覧になってください。ターミナルアダプターの種類によっては、うまく通信できないことがあります。詳しくは、ターミナルアダプターの製造元にお問い合わせください。ADSL でご使用になる場合も、うまく通信できないことがあります。
- ● ADSL回線で本機を利用する場合、本機はスプリッターの後段の電話回線側に接続してください。正しく接続しないと、正常に通信ができません。
- ●ケーブル電話などでは、うまく通信できないことがあります。詳しくは、ケーブル電話会社にお問い合わせください。
- ● 6 極 4 芯タイプの電話機の中で、NTT 仕様に準拠していない機器は、ご使用になれません。
- ●コードをはずすときは、プラグを持ち、ツメを押しながら抜いてください。また、プラグを差し込むときは、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。
- ●公衆電話、共同電話、地域集団電話、自動車電話、携帯電話、PHS、船舶電話には接続できません。
- ●キャッチホン契約されている場合は、本機が通信していても、キャッチホンが優先されます。
- ●ファクシミリが接続されている場合は、ファクシミリの送受信中に本機が通信を行うと、ファクシミリのデータが正しく送受信できない場合があります。
- ●モジュラー分配器を使用して、電話機などを接続している場合、本機が通信するとき電話機から呼出音がなる場合があります。このような場合には、市販の自動転換器をご使用になることをおすすめします。

LAN インターフェースと接続する

本機では、デジタル放送の新しい双方向データサービスに対応するため、インターネット網に常時接続環境で接続する LAN インターフェースを装備しています。なお、一般のインターネットの Web サイトを見ることはできません。
ご使用の環境に応じて、下記のように接続してください。

ADSL の場合（1）：ADSL モデム（ルーター非内蔵タイプ）との接続

ADSL の場合（2）：ADSL モデム（ルーター内蔵タイプ）との接続（LAN 接続端子に空きがない場合）

ADSL の場合（3）：ADSL モデム（ルーター内蔵タイプ）との接続（LAN 接続端子に空きがある場合）

LAN インターフェースと接続する

CATV の場合（1）：ケーブルモデム（ルーター非内蔵タイプ）との接続

CATV の場合（2）：ケーブルモデム（ルーター内蔵タイプ）との接続（LAN 接続端子に空きがない場合）

CATV の場合（3）：ケーブルモデム（ルーター内蔵タイプ）との接続（LAN 接続端子に空きがある場合）

FTTH の場合：ONU またはメディアコンバーター（ルーター非内蔵タイプ）との接続

お守りください

電話用のモジュラーケーブルは、LAN 端子の接続には使用できません。無理に挿入すると故障の原因となります。

お知らせ

- ADSL モデムやケーブルモデムとブロードバンドルーターやハブの接続については、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
- 双方向データサービスをご利用になるときは、電話回線の接続 36 も行なってください。
  地上･BS デジタル放送では､インターネット網への接続により､さらに多様な双方向データサービスを利用することができます。
- 本機はプロキシサーバーの設定には対応していません。
- 本機は DNS サーバーには対応していません。
- 本機でインターネット網に接続するには、回線業者やインターネットサービスプロバイダーとの契約が必要です。未契約の場合は、回線業者やプロバイダーと契約してください。
- 回線業者やインターネットサービスプロバイダーとの契約によっては、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できない場合や、追加料金が必要な場合があります。
- 本機は、アナログモデムおよび ISDN によるダイヤルアップ接続には対応しておりません。
- 本機は、10BASE-T/100BASE-TX 規格に準拠した LAN インターフェースを装備しておりますので、この規格に準拠した LAN ケーブルを使用してください。
- ADSL モデムやスプリッター、ケーブルモデム、ブロードバンドルーター、ハブ、ケーブルなどは、回線業者やインターネットサービスプロバイダーとの契約をご確認の上、指定された製品を使って、接続や設定を行ってください。
- ADSL モデムやケーブルモデムについてご不明な点は、ご利用の ADSL 回線業者や CATV 事業者またはインターネットサービスプロバイダーにお問い合わせください。
- ブロードバンドルーターに固定 IP で接続されている場合は、ISP 設定について 65 で「IP アドレス取得」を「手動」に選択し、必要な項目を設定してください。
- ブロードバンドルーターによっては、パソコンによる設定が必要な場合があります。このようなルーターを使用する場合は、パソコンを接続して設定を行ってください。
- 本機では、アナログモデムによるインターネット接続を前提とするデータ放送サービスはご利用できません。
- 本機では、一般のインターネットの Web サイトを見ることができません。

メ　モ

ADSL(Asymmetric Digital Subscriber Line) について

従来の電話用メタリックケーブル上で実現される高速デジタル伝送方式の一つです。すでに一般家庭に広く普及している電話線を使って、インターネットへの高速で安価な常時接続環境を提供する技術であり、現在、インターネット常時接続の主流となりつつあります。

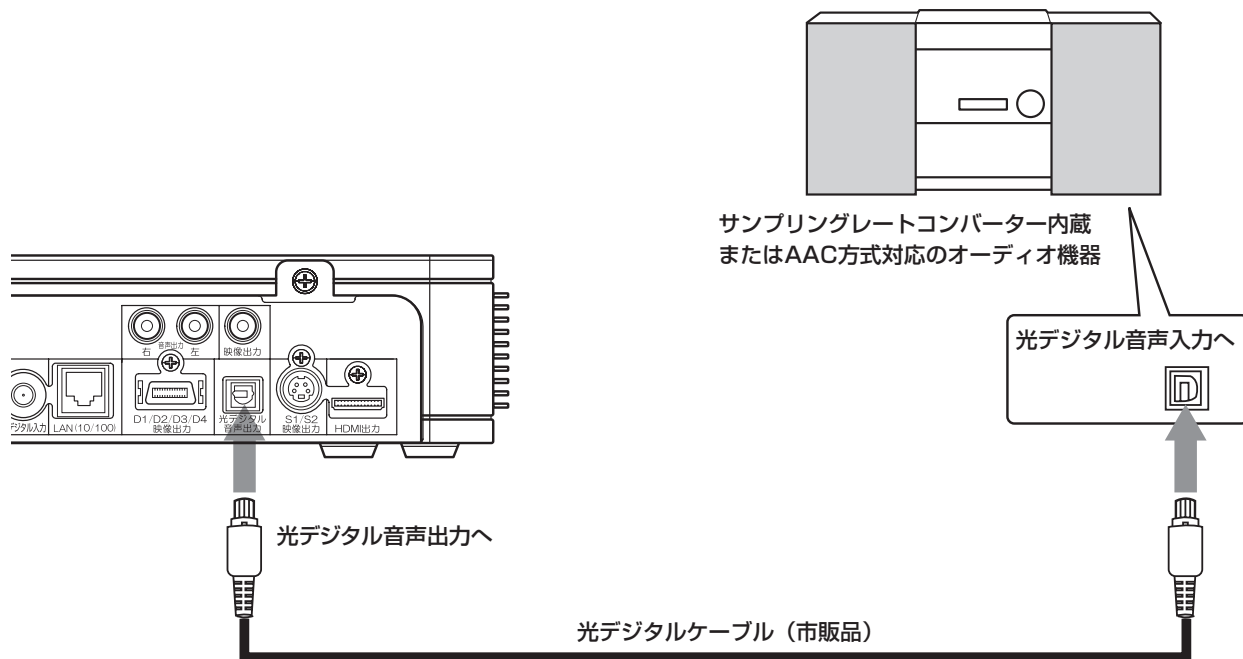
FTTH(Fiber To The Home) について

光ファイバーを家庭まで直接引き込み、超高速･広帯域の通信環境を提供するサービスのことです。2001 年から NTT 東日本･西日本が光ファイバーによる常時接続サービスの B フレッツを開始しています。CATV や ADSL を超える高速通信が可能です。

ONU(Optical Network Unit) とメディアコンバーターについて

光ファイバー加入者通信網における､パソコンなどの端末機器をネットワークに接続するための装置で､加入者宅に設置されます。

デジタル音声入力端子付きオーディオ機器と接続する

本機の光デジタル音声出力端子に、デジタル音声入力端子付きのオーディオ機器を接続することができます。
デジタル放送受信時には、MPEG-2 AAC 方式で出力することもできるので、AAC 方式対応のオーディオ機器と接続することで 5.1 チャンネルサラウンド音声の番組を臨場感あふれる音声でお楽しみいただけます。AAC 方式の出力をご利用になるには、「デジタル音声出力」の設定変更が必要です。（②操作編 84）

お守りください

接続時のご注意

●他の機器と組み合わせてご使用になるときにはそれぞれの取扱説明書をよくお読みください。
●接続の際は各機器の電源を切ってから行ってください。電源を入れた状態で接続すると、大きな音が出たり故障の原因となることがあります。
●他の機器との接続時、入出力端子をまちがえて接続すると、故障の原因になりますのでご注意ください。
●接続する他の機器、接続コードおよびアンテナ線が、テレビの画面または画面の後面に配置されますと、映像がゆれたり妨害を受ける恐れがあります。接続機器、接続コードおよびアンテナ線は上記の配置を避けてください。

お知らせ

●本機の光デジタル音声出力端子はフタでふさがっていますが、ドアのようになっています。光デジタルケーブルのプラグ部を持って、そのままゆっくりと端子にまっすぐに差し込んでください。
●本機は、放送局側の音声サンプリング周波数に対応した光デジタル音声信号を出力します。このため、AAC 方式対応のオーディオ機器以外では、サンプリングレートコンバーターを内蔵したアンプや MD レコーダーなどに接続してください。
●デジタル番組（AAC）は音声切換ボタンを押しても、光デジタル音声出力の音声は変わりません。
● AAC 方式の出力をご利用になるには、「メニュー」の「デジタル音声出力」を「AAC」に設定する必要があります。（②操作編 84）（お買い上げ時は、「PCM」に設定されています。）

メ　モ

AAC（Advanced Audio Coding）について

AAC とは、音声符号化の規格の一つです。AAC は、CD（コンパクトディスク）並の音質データを約 1/12 にまで圧縮できます。また、5.1 チャンネルのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

iVDR の接続について

iVDR とは

iVDR(Information Versatile Disk for Removable usage) とは、国内外のエレクトロニクス製品メーカー 50 社（2007 年 9 月 26 日現在）が賛同・推進する、取り外し可能なハードディスクです。別売りの iVDR を接続することにより、HDD の高速 / 大容量を活かしたリムーバブルメディアとして利用できます。
デジタル放送はほとんどの番組はコピー制限付きです。コピー制限付き番組はセキュア対応の iVDR-S で録画することが出来ます。本機では日立マクセル株式会社製の iVDR-S[M-VDRS80/160G.TV]（別売り）を推奨します。

iVDR を挿入口に入れる

iVDR 挿入口にディスクカートリッジを挿入する

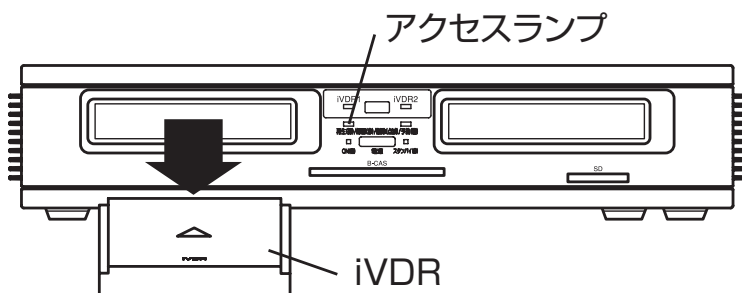
可搬型ディスクカートリッジは、別売りの 2.5 型 iVDR ディスクカートリッジをお使いください。
iVDR の矢印表示が見える面を上にして挿入がとまるまでゆっくりと押し込みます。
iVDR を認識すると右図のようなメッセージを表示します。
フォーマットされていない iVDR を挿入した場合は、画面の指示に従って iVDR の初期化を実行してください。

iVDR が動いているときは、アクセスランプが点灯または点滅します。

●セキュア対応 iVDR-S を挿入口に挿入したとき

●セキュア非対応 iVDR を挿入口に挿入したとき

iVDR の抜きかた

iVDR アクセスランプが点灯していないことを確認してディスクカートリッジを抜く

お守りください

●次の動作中に、iVDR の挿入や取外し、電源プラグを抜かないでください。
iVDR の記録内容が損傷し、録画や再生が出来なくなる可能性があります。
・録画・再生・編集 (移動・ダビングなど) 中
・iVDR 認識中
・フォーマット中
・アクセスランプ点滅中
● iVDR挿入口には、iVDR以外のものを挿入しないでください。
● iVDR 挿入の前に、カートリッジのコネクタ部に液体・ほこりなどの異物が付いていないことを確認してください。
●頻繁に iVDR を抜き差ししないでください。
コネクタ接触部が磨耗し接触不良などの故障の原因になります。

お知らせ

● iVDR は精密機器（HDD）です。無理な力や衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
● iVDR を静電気、電気的ノイズの発生しやすい場所や強い磁気の発生する場所では使用しないでください。内部のデータが破損、消失する場合があります。
● iVDR には、セキュア対応の iVDR-Secure、セキュア非対応の iVDR があります。
●セキュア対応の iVDR-Secure は、コピー・ワンス（一回だけコピー可）のデジタル放送を録画することができます。
●セキュア非対応の iVDR はコピー・フリー（コピー制限無し）のデジタル放送のみ録画可能です。コピー・ワンス（一回だけコピー可）のデジタル放送は録画できません。iVDR-Secure ディスクの使用を推奨します。
●画面ではセキュア対応の iVDR-Secure を「iVDR-S」、セキュア非対応 iVDR は、「iVDR」と表現します。ただし、予約設定画面、予約一覧画面で表示される「iVDR」は、本体に挿入する iVDR を表わします。
●パソコンで iVDR のフォーマットやファイル操作を行った場合、正常に使用できなくなる場合があります。

電源プラグの接続について

⚠警告

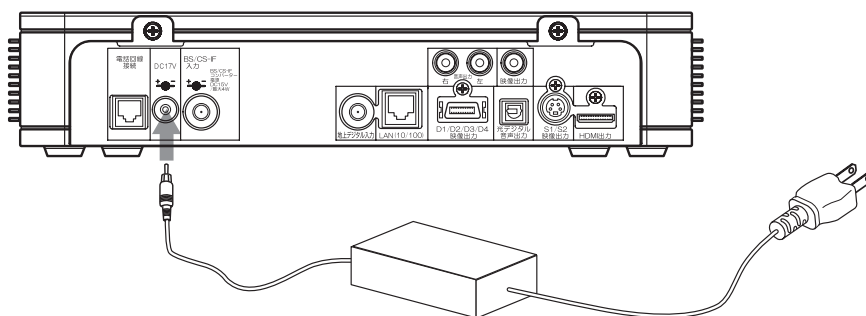
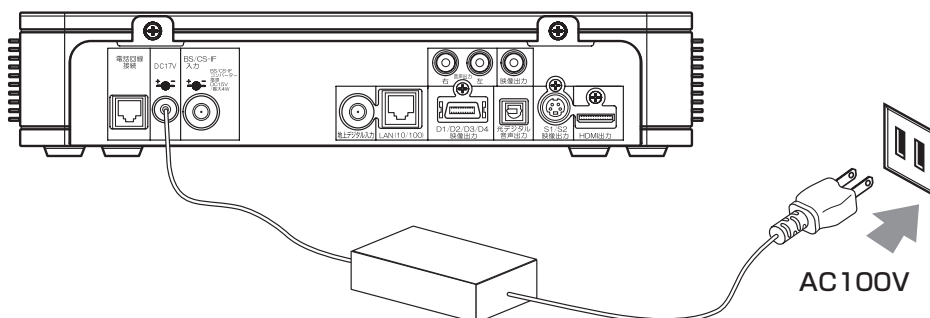
●指定の電源電圧でご使用ください。表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

● AC アダプターは付属品以外を使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠注意

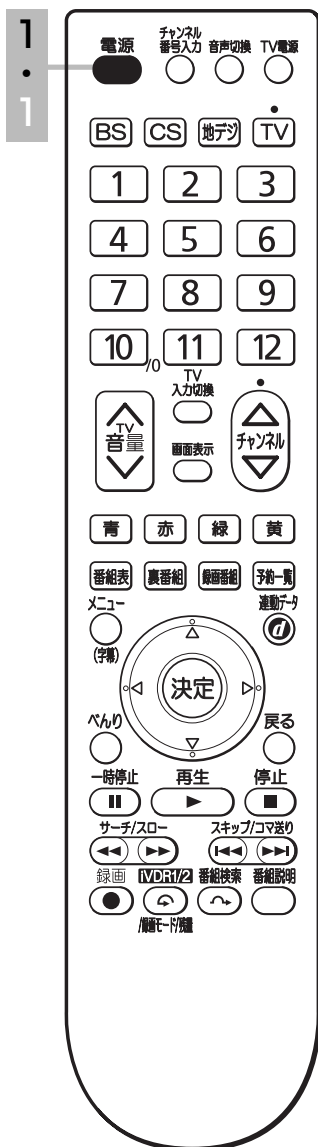
●電源プラグをすぐに抜くことができるように本機を据え付けてください。本機が異常や故障となったとき、電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと火災・感電の原因となることがあります。

●旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

1 AC アダプターのコネクター側を本体の後面にある DC 入力端子に差し込む

2 電源プラグをコンセントに差し込む

かんたんセットアップ

電源を入れる / 切る

準　備

本体のスタンバイランプが消えているときは、リモコンでは電源が入りません。
まず、本体の電源プラグをコンセントに差し込んでください。スタンバイランプが赤に点灯します。

電源を入れる

1　電源ボタンを押す

本体の受像ランプが青色に点灯し、電源が入ります。

お知らせ

スタンバイ / 受像ランプについて

●スタンバイランプが赤く点灯しているときに、リモコンまたは本体の電源ボタンを押すと電源が入ります。
●電源を「入」にしたあと、画面が出るまでは受像ランプが点滅します。

電源を切る

1　もう一度、電源ボタンを押す

本体のスタンバイランプが赤色に点灯し、電源が切れます。

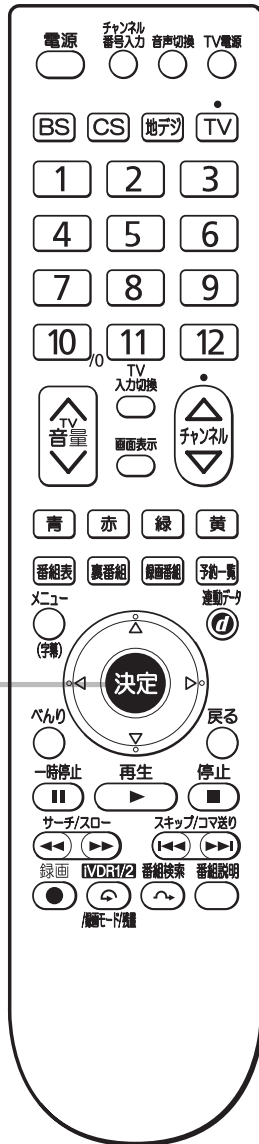
すぐに操作できるようにする（高速起動）

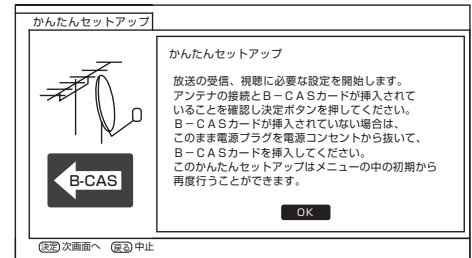
電源が切れている状態から操作がすぐにできるように設定できます。メニュー「その他設定」の「高速起動」を設定してください。(②操作編 93)

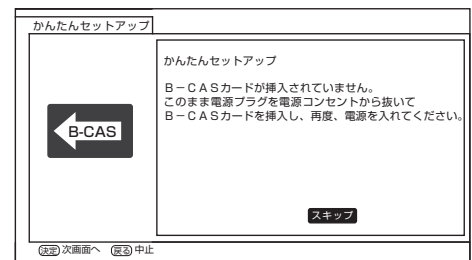
お知らせ

高速起動を設定すると、電源を切ったときの待機消費電力が増加します。

かんたんセットアップ

本機の電源をはじめて入れると、かんたんセットアップが自動的に起動します。かんたんセットアップはテレビ放送の視聴に必要な設定を行うための機能です。
メニューの「初期設定」－「かんたんセットアップ」から再度行うことができます。
メニューの「初期設定」－受信設定（地上デジタル）、受信設定（BS・CS）等から個別に設定することもできます。72 80

かんたんセットアップ起動後・・・

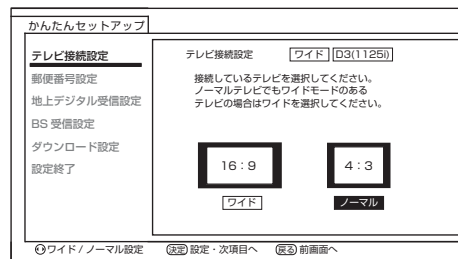
1 決定ボタンを押す

- 決定ボタンを押すと、郵便番号設定へ進みます。
- 「戻るボタン」で、かんたんセットアップを終了します。

B-CAS カードが挿入されていない場合

電源プラグを電源コンセントから抜いて、B-CAS カードを挿入して、再度電源を入れてください。

かんたんセットアップ

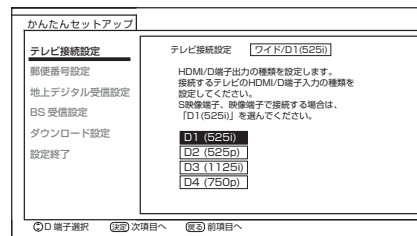
テレビとの接続を設定する

1

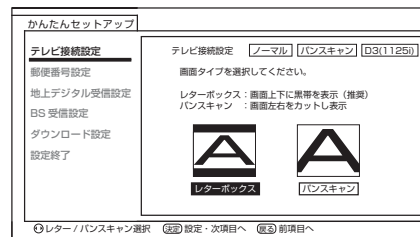
画面の指示に従いテレビのタイプ（アスペクト比）を◁▷で選び、決定ボタンを押す

●テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

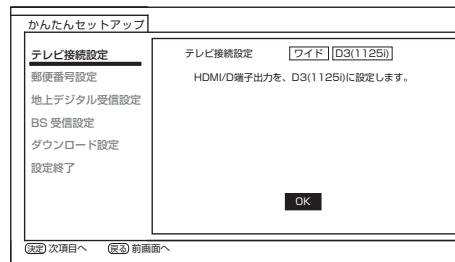
2

「ワイド（16：9)」を選んだ場合

お使いのテレビの HDMI/D 端子の種類（D1 ～ D4）に合ったものを△▽で選び、決定ボタンを押す

● S 映像端子、映像端子で接続する場合は、「D1(525i)」を選んでください。
●テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

「ノーマル（4：3)」を選んだ場合

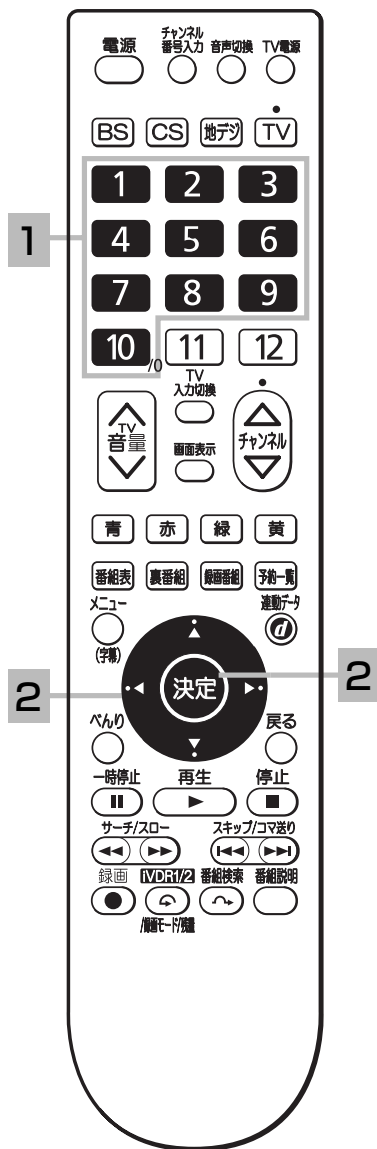
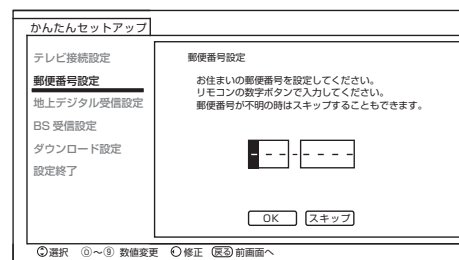
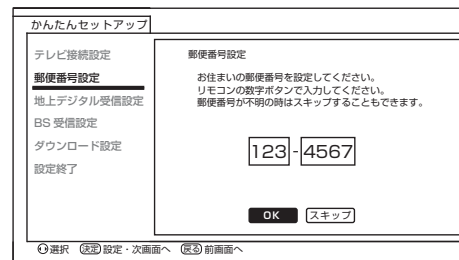
16：9 の映像を視聴するときのテレビの映り方を、画面の説明で確認して、◁▷で選び、決定ボタンを押す

●レターボックス（推奨）
放送される映像、OSD が全て表示されます。
●パンスキャン
放送される映像、OSD の左右をカットして表示します。
● D 端子付きの４：３テレビに接続する場合は、テレビ側の V 圧縮表示機能をオンにしてください。

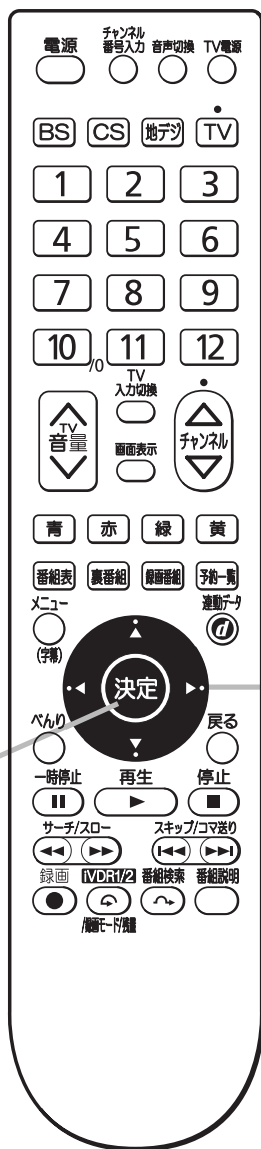
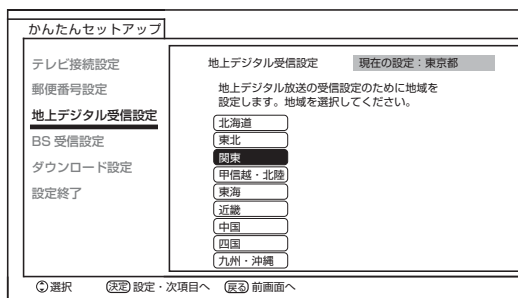
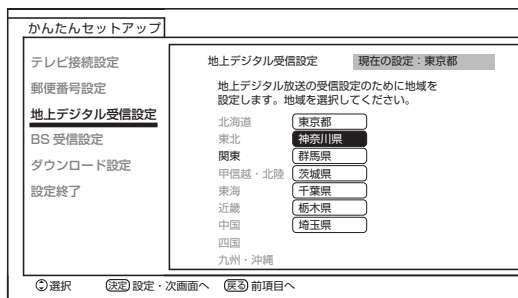
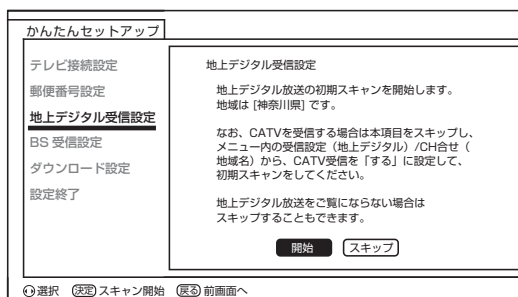
3 設定を確認し決定ボタンを押す

●最後に「画面は正常に表示されていますか。」の確認メッセージが表示されます。正常に表示されている場合は◀▶で「はい」を、正常に表示されない場合は戻るボタンを押して 2 を再度行ってください。

お知らせ

本機を４：３テレビのＤ端子に接続する場合、正しい縦横比で映像を表示するためには、テレビ側の映像を上下に圧縮（Ｖ圧縮）して表示する機能＊が必要です。そのような機能がない４:３テレビには､Ｄ端子で接続できません。Ｓ映像端子や映像端子で接続してください。
＊メーカーにより、高画質ワイドモード、高密ワイドモードなどと呼ばれています。

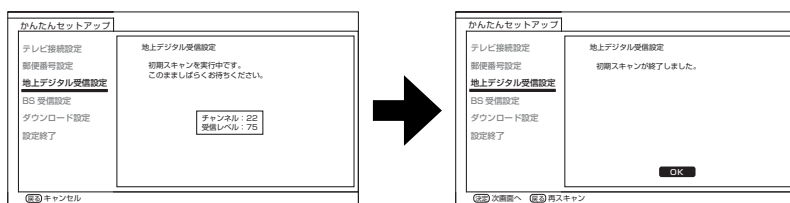
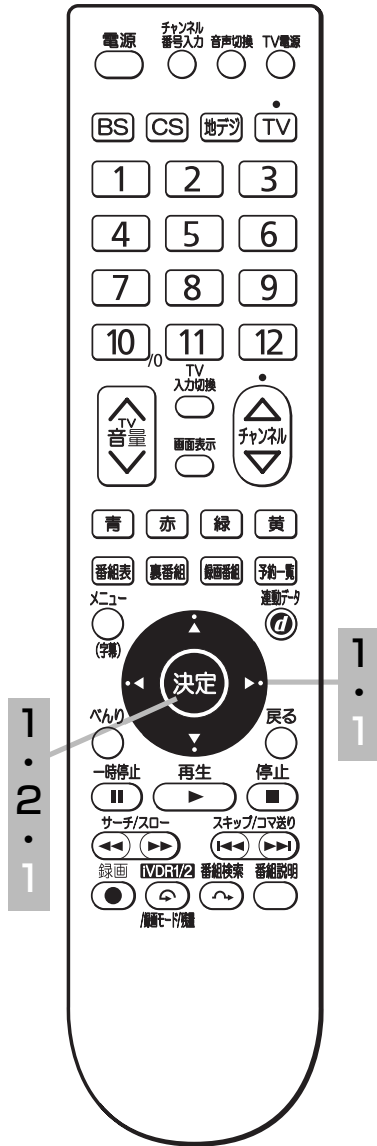
かんたんセットアップ

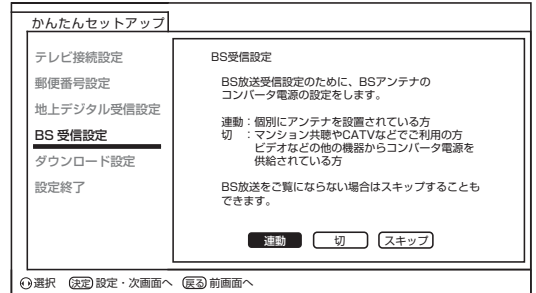
郵便番号を設定する

1 お住まいの地域の郵便番号 (7 桁) を数字ボタンで押す

2 で「OK」を選び、決定ボタンを押す

- 「スキップ」を選択すると、郵便番号を設定しないで次へ進みます。

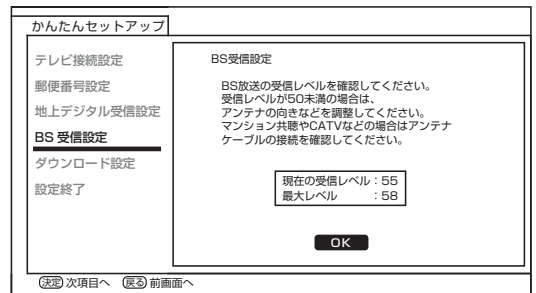
地上デジタルの受信設定をする

1 でお住まいの地域を選び、決定ボタンまたは を押す

2 でお住まいの都道府県を選び、決定ボタンまたは を押す

3 決定ボタンを押す

●地上デジタル放送をご覧にならない場合は「スキップ」を選択してください。地上デジタルの受信を設定しないで次に進みます。

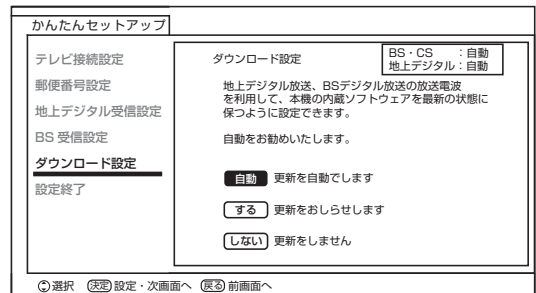
4 初期スキャン終了後、決定ボタンを押す

お知らせ

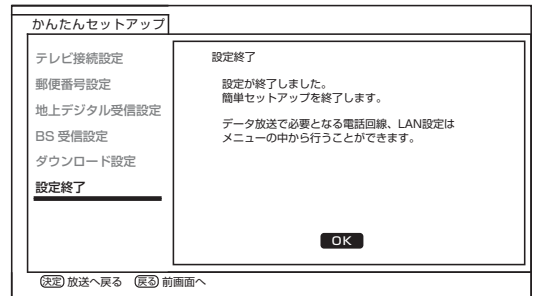
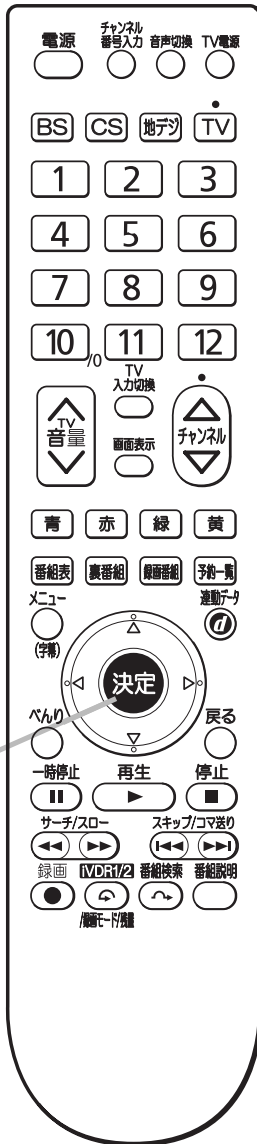
CATV（ケーブルテレビ）で周波数変換パススルー方式により地上デジタル放送が伝送されている場合は、手順3で「スキップ」を選択し、かんたんセットアップ終了後、メニューの受信設定（地上デジタル）72 で再設定を行ってください。

かんたんセットアップ

BS の受信設定をする

1 ◀▶で「連動」「切」「スキップ」の何れかの項目を選び、決定ボタンを押す

連動　　：個別にアンテナを設置されている方
切　　　：マンション共聴や CATV などでご利用の方
　　　　　ビデオなどの他の機器からコンバーター電源を供給されている方
スキップ：BS 放送をご覧にならない場合

2 決定ボタンを押す

ダウンロード設定をする

1 ▲▼で「自動」「する」「しない」の何れかの項目を選び、決定ボタンを押す

自動　：更新を自動でします（推奨）
する　：更新をお知らせします
しない：更新をしません

かんたんセットアップの終了

1 決定ボタンを押し、かんたんセットアップを終了します

かんたんセットアップはメニューの受信設定から再度行うことができます。

お知らせ

データ放送で必要となる電話回線、LAN 設定は、メニューの「電話回線設定」58 、「LAN 設定」67 から行うことができます。

かんたんセットアップ